

はじめに

平成22年度の図書館の活動実績を報告する「事業概要～心を豊かにする図書館をめざして～」がまとまりました。

小平市立図書館では、資料の貸出を行うほか、レファレンスサービス、児童サービスなどの各種のサービス及び講演会、講座、展示等の行事、さらに学校図書館を始め関係機関との連携など多様な事業を実施しております。この事業概要がそれらの活動を広く市民の方々にご理解いただき、図書館を利用する上で役立つ資料、図書館と市民の方々との連携・協力を推進するための情報として役立つ資料となればと考えております。

さて、平成22年度は、資料の貸出数が155万5千点ほどでした。平成21年度よりも約7万7千点減少しております。東日本大震災の影響による臨時休館や開館時間の短縮が一因と考えられます。しかしながら、その他の事業では、3月開催の行事が一部中止となった他は、例年どおり、児童文学講演会、民話講座、家族1日図書館員、ブックリサイクルなどの行事も滞りなく実施し、好評を得ることができました。

また、特に学校図書館の充実に重点を置いている第2次小平市子ども読書活動推進計画の1年目に当たり、全小学校に学校図書館協力員を配置できたことは、学校図書館の活性化に大いに役立ったところです。学校図書館での本の貸出数が増加していることからその成果が伺えます。

さらに、22年度は、仲町図書館の建替えがスタートしました。近隣の仲町公民館との合築による複合施設となりますが、『人と情報の出会いの場』を基本コンセプトに、相互の資源を生かした相乗効果を生む施設を目指し、市民の皆様、関係団体のご意見・ご要望を伺いながら、基本設計をまとめました。人々が気軽に訪れることができるような、また、周辺環境に溶け込みながらも地域のシンボルとなるような地上3階、地下1階の建物となる予定です。今後は、平成26年のリニューアルオープンに向けて、実施設計、解体・建築工事と進めてまいります。

今後も開館以来の運営方針である「はいりやすく、親しみやすい図書館」「簡単な手続きで利用できる図書館」「資料のそろっている図書館」を基本に様々な事業を展開し、市民の方々の役に立つ図書館となるよう、運営してまいります。

平成23年9月

小平市中央図書館長

目次

はじめに	1
目次	2
図書館事業体制	
1 小平市図書館の開設	5
2 図書館配置図	5
3 施設概要	6
4 事務分掌	7
5 予算概要	9
図書館事業計画（平成22年3月18日決定）	
1 基本方針	10
2 推進事項	11
3 実施事業	13
この1年間の事業の成果	
1 図書館協議会の開催	18
2 蔵書管理	19
3 図書資料等の収集・整理・保存・貸出	21
4 視聴覚資料の収集・整理・保存・貸出	22
5 地域資料等の収集・整理・保存及びデジタル化	23
6 レファレンスサービス	25
7 講座・講演会等の開催	27
8 展示会等の開催	28
9 児童サービス	29
10 第2次小平市子ども読書活動推進計画の推進	31
11 小・中学校との連携促進	31
12 障がい者・高齢者サービス	32
13 複写サービス	33
14 リクエストサービス	33
15 広域利用の推進	34
16 図書館関係団体に対する援助・連携	36
17 図書館ボランティアの活動の促進	36
18 図書清掃の実施	36
19 施設の運営管理	37
20 図書館施設の提供	37
21 実習生及び職場体験学習等の受入れ	38
22 職員研修及び実務研修等	39
23 広報活動	40
24 仲町図書館改築に向けての基本設計の実施	42

各地区図書館の事業の成果

1 仲町図書館	43
2 花小金井図書館	43
3 小川西町図書館	44
4 喜平図書館	45
5 上宿図書館	47
6 津田図書館	48
7 大沼図書館	48

参考資料

資料1 小平市図書館協議会「仲町公民館・仲町図書館建替え方針をめぐって ～人と情報の出会いの場～」	
資料2 平成22年度小平市立図書館事業統計	
資料3 平成22年度小平市子ども文庫連絡協議会事業報告	

表

【表1】小平市立図書館施設概要	6
【表2】小平市立図書館事務分掌	7
【表3】小平市立図書館当初予算概要	9
【表4】図書館協議会の審議案件	18
【表5】資料等補修・修理実績（中央図書館）	19
【表6】除籍件数	20
【表7】ブック・リサイクル事業の実績	20
【表8】所蔵資料数	23
【表9】地域資料の所蔵資料数	23
【表10】地域資料分類別受入資料数	23
【表11】レファレンス統計の推移	26
【表12】レファレンス記録票件数の推移（記録票に記入された事例件数）	26
【表13】インターネット開放端末利用件数の推移	27
【表14】講演会・講座の内容	27
【表15】民話講座の内容	28
【表16】展示会の内容	28
【表17】おはなし会の開催回数と参加人数	29
【表18】おたのしみ会の参加人数	30
【表19】絵本のへやの開催回数と参加人数	30
【表20】リクエスト件数の推移	33
【表21】相互貸借の実績	34
【表22】図書館ボランティア活動実績	36
【表23】図書清掃（消毒）の実施状況	37
【表24】集会室貸出件数	37
【表25】中央図書館施設利用実績	37
【表26】図書館見学の受入れ実績	38

【表27】 職場体験の受入れ実績	38
【表28】 視察の受入れ内容	39
【表29】 職場研修の内容	39
【表30】 レファレンス研修の内容	40
【表31】 仲町図書館の年間展示テーマ	43
【表32】 郵送貸出の推移	45
【表33】 小学校教科書の所蔵点数	45
【表34】 中学校教科書の所蔵点数	45
【表35】 喜平図書館の幼児コーナーの年間展示テーマ	46
【表36】 喜平図書館・上宿図書館の集会室利用状況	47
【表37】 ポスター等収集実績一覧	48
【表38】 大沼図書館の年間展示テーマ	49

図

【図1】 小平市内の図書館配置図	5
【図2】 除籍資料・寄贈図書のリサイクルの流れ	20
【図3】 蔵書数・貸出数の推移	21
【図4】 一般書分類別所蔵資料率	22
【図5】 児童書分類別所蔵資料率	22
【図6】 複写サービスの推移	33
【図7】 リクエスト件数の推移	34
【図8】 小平市立図書館の広域利用状況	35
【図9】 小平市民の広域利用状況	35

図書館事業体制

1 小平市図書館の開設

小平市図書館が誕生したのは、昭和50年5月でした。当時多摩地域には32の市町村がありましたが、小平市図書館はその中で23番目に52館目の図書館として開館しました。

小平市における図書の貸出は、昭和28年に都立立川図書館（現在の都立多摩図書館）の移動図書館「むらさき号」が市内3箇所を拠点にして貸出業務を行ったのが始まりと記録されています。

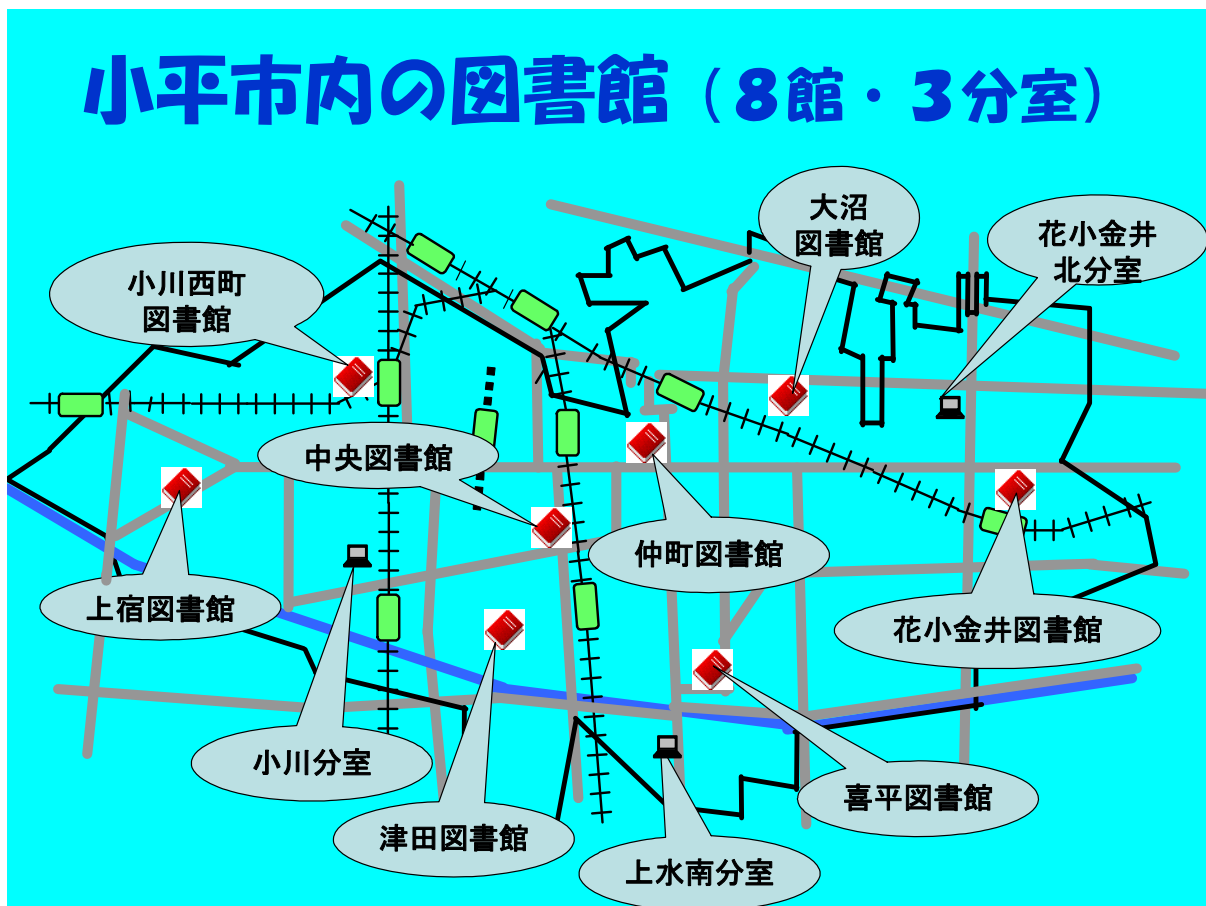
昭和39年から小平市公民館（現在の仲町公民館）に図書室が設けられ図書の貸出が始まりましたが、利用が増加し、図書館の必要性が強く認識されるようになり、昭和49年4月に図書館準備室が設けられ、昭和50年5月に現在の仲町図書館が、小平市第1号の図書館としてオープンしました。

さらに、地区図書館の設置とネットワークを形成することを「長期総合計画」で策定し、昭和54年から57年にかけて、毎年、花小金井図書館、小川西町図書館、喜平図書館、上宿図書館を設置し、昭和60年に現在の中央図書館が開館しました。そして、昭和62年に津田図書館、平成13年に大沼図書館が開館しました。これにより、中央館1館、地区図書館7館、分室3館が整備され、「15分歩けば図書館が利用できる」図書館ネットワークが完成しました。その後、花小金井図書館は駅前再開発事業に伴い新築移転し、平成18年5月にリニューアルオープンしています。

2 図書館配置図

【図1】 小平市内の図書館配置図

（平成22年4月1日現在）



3 施設概要

【表1】 小平市立図書館施設概要

(平成22年4月1日現在)

(単位：㎡)

項目	中央図書館	仲町図書館	花小金井図書館	小川西町図書館	喜平図書館	上宿図書館	津田図書館	大沼図書館	
開館年月	S60.7	S50.5	S54.4 H18.5(移転)	S55.7	S56.6	S57.6	S62.7	H13.1	
床面積	延床面積	4,703.555	1,141.080	1,661.890	1,971.218	1,156.450	932.240	1,299.950	1,422.140
	地階	968.184	25.980	-	-	-	-	-	-
	1階	1,582.684	363.330	762.330	1,056.290	610.200	465.400	1,299.950	1,422.140
	2階	1,042.275	369.790	630.970	914.928	546.250	466.840	-	-
	3階	1,018.907	312.270	268.590	-	-	-	-	-
開架施設	延開架面積	1,543.984	505.450	479.490	543.091	506.650	388.330	409.740	434.340
	一般開架室	1,301.250	197.160	479.490	543.091	506.650	388.330	409.740	434.340
	参考室	242.734	109.350	-	-	-	-	-	-
	児童室	-	198.940						
お話室	37.429	28.960	43.200	37.194	37.038	30.880	28.300	48.220	
閉架	閉架書庫	406.324	51.030	61.020	50.812	49.720	62.260	37.120	65.470
	古文書庫等	142.319	-	-	-	-	-	-	-
事務用施設	事務室	203.372	77.360	99.000	78.031	65.930	72.120	51.860	89.480
	会議室	66.591	48.780	-	-	-	-	-	-
	作業室	71.381	-	-	-	19.290	-	-	-
	職員休憩室	70.037	28.960	19.350	36.618	36.925	34.050	24.700	-
	応接室	22.678	-	-	-	(約5.63)	8.400	11.520	-
	更衣室	23.963	-	-	2.860	(約1.72)	1.640	-	-
	倉庫	116.452	-	12.000	-	28.425	17.650	-	9.260
共用施設	玄関	36.761	-	29.410	25.497	26.748	14.840	-	29.810
	便所	116.925	-	49.590	30.511	57.477	62.560	-	37.680
	エレベーター、階段、廊下	426.494	-	117.310	119.808	147.810	109.300	-	-
管理施設	機械室	439.317	95.690	17.680	16.838	9.084	8.000	24.320	-
	警備員室	-	-	-	-	3.000	3.200	-	-
	委託員控室	14.772	-	11.400	-	9.648	5.440	-	14.870
集会室	-	-	-	-	150.090	101.000	-	-	
その他	964.756	304.850	1.520	53.628	8.600	12.570	16.330	108.350	
図書館専有床面積	4,703.555	1,141.080	899.560	994.888	1,006.360	831.240	603.890	646.770	

図書館専有面積 総合計	10,827.343
----------------	------------

4 事務分掌

【表2】 小平市立図書館事務分掌

(平成22年4月1日現在)

庶務係	<ul style="list-style-type: none"> ○ 図書館の総合計画の企画・立案及び調整に関すること。 ○ 図書館協議会に関すること。 ○ 図書館情報システムの開発、維持管理及び運用に関すること。 ○ 図書館サービスの利用統計及び調査に関すること。 ○ 図書館のPR及び広報に関すること。 ○ 図書館職員の研修に関すること。 ○ 公印の管守に関すること。 ○ 多摩六都図書館協力事業の調整に関すること。 ○ 図書館実習生等の受入に関すること。 ○ 施設、設備及び備品の維持管理に関すること。 ○ 予算、決算、契約及び経理に関すること。 ○ 館内の文書及び物品の管理に関すること。 ○ 各係及び地区図書館の連絡調整に関すること。 ○ その他、館内他係及び地区図書館に属さないこと。
サービス係	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総合カウンターのサービス及び運営に関すること。 ○ 図書館資料の利用及び貸出に関すること。 ○ 図書館資料の相互貸借及びリクエストに関すること。 ○ 児童サービスに関すること。 ○ 障がい者サービスに関すること。 ○ 図書館行事（講座、講演会、おはなし会、展示会等）の開催に関すること。 ○ 分室の運営に関すること。 ○ 関係機関との連絡及び調整に関すること。 ○ 学校図書館の支援に関すること。 ○ 市内の学校及び子ども文庫との連携に関すること。 ○ 図書館ボランティアに関すること。 ○ 子ども読書活動の推進に関すること。 ○ その他、館内他係及び地区図書館に属さない図書館サービスに関すること。
資料係	<ul style="list-style-type: none"> ○ 蔵書計画に関すること。 ○ 図書館資料の発注及び受入並びに参考資料及び地域資料を除く図書館資料の選定、収集及び整理に関すること。 ○ 図書館資料の維持管理、補修、除籍、廃棄及びリサイクルに関すること。 ○ 図書館資料の受贈及び受託に関すること。 ○ 開架及び閉架書庫の資料管理に関すること。
調査係	<ul style="list-style-type: none"> ○ 参考室カウンターのサービス及び運営に関すること。 ○ 参考調査及び読書相談に関すること。 ○ 参考資料及び地域資料の選定、収集及び整理に関すること。 ○ 参考資料及び地域資料の維持管理、補修、除籍及び廃棄に関すること。

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特別文庫に関すること。 ○ 古文書及び古書の受贈及び受託に関すること。 ○ 古文書及び古書の整理、調査、出版、展示等に関すること。
地区図書館	<ul style="list-style-type: none"> ○ 図書館資料の利用及び貸出に関すること。 ○ 図書館資料の購入に係る資料作成に関すること。 ○ 図書館資料の選定、収集、整理及び保存に関すること。 ○ 図書館資料の廃棄に係る資料作成に関すること。 ○ 図書館資料の相互貸借に関すること。 ○ 地域資料に関すること。 ○ 読書会、講演会、おはなし会、鑑賞会、資料展示会、その他集会に関すること。 ○ 読書相談及び参考調査に関すること。 ○ 図書及び書架の整備に関すること。 ○ 調査、統計及び広報に関すること。 ○ 公印の管守に関すること。 ○ 施設、設備及び備品の維持管理に関すること。 ○ 地区図書館内の文書及び物品管理に関すること。 ○ 集会室（喜平図書館、上宿図書館）の貸出に関すること。

5 予算概要

【表3】 小平市立図書館当初予算概要

(単位：千円)

事業名		22年度	21年度	増減
図書館費合計		823,752	833,639	△9,887
図書館人件費		401,774	424,262	△22,488
中央	中央図書館運営管理事業	89,937	91,981	△2,044
	図書館情報総合管理システム運営事業	33,894	34,947	△1,053
	古文書の収集・整理・保存事業	4,544	4,711	△167
	地域資料の収集・整理・保存事業	624	622	2
	障害者福祉推進事業	820	820	0
	視聴覚事業	643	798	△155
	図書資料の収集事業	54,724	54,747	△23
	地域資料・情報の充実と情報発信	1,134	1,155	△21
	レファレンス機能の充実	1,804	1,133	671
	学校図書館との連携推進事業	4,564	4,624	△60
合計		192,688	195,538	△2,850
仲町	仲町図書館運営管理事業	27,133	27,007	126
	仲町図書館・公民館整備事業	11,840	0	11,840
	逐次刊行物及びタウン誌の収集・整理・保存事業	131	134	△3
合計		39,104	27,141	11,963
花小金井	東部市民センター施設管理事業	43,433	43,316	117
	花小金井図書館運営管理事業	11,684	12,119	△435
合計		55,117	55,435	△318
小川西町	西部市民センター施設管理事業	25,986	20,917	5,069
	小川西町図書館運営管理事業	11,301	11,715	△414
	障害者サービス事業	158	153	5
合計		37,445	32,785	4,660
喜平	喜平図書館運営管理事業	25,738	25,513	225
	郷土写真資料の収集・整理・保存事業	322	322	0
合計		26,060	25,835	225
上宿	上宿図書館運営管理事業	21,112	21,720	△608
	新聞記事及びリーフレットの収集・整理・保存事業	1,182	1,257	△75
合計		22,294	22,977	△683
津田	津田図書館・公民館施設管理事業	13,105	13,305	△200
	津田図書館運営管理事業	11,150	11,169	△19
合計		24,255	24,474	△219
大沼	大沼図書館・公民館施設管理事業	13,762	14,191	△429
	大沼図書館運営管理事業	11,253	11,001	252
合計		25,015	25,192	△177
事業費合計		421,978	409,377	12,601

1 基本方針

(1) はじめに

図書館を巡る近年の国の動向としては、平成13年7月に文部科学省によって「公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準」が示され、同年12月には「子どもの読書活動の推進に関する法律」が、平成17年7月には「文字・活字文化振興法」が公布・施行されました。また、平成18年3月にはこれからの図書館の在り方検討協力者会議から「これからの図書館像―地域を支える情報拠点をめざして―」が報告され、これからの図書館サービスに求められる新たな視点が示されています。その要点は、「レファレンスサービスの充実と利用促進」「課題解決支援機能の充実」及び「紙媒体と電子媒体の組合せによるハイブリット図書館の整備」にあると言えます。

また、教育基本法の改正を受けて、「図書館法」が平成20年6月に改正されました。改正の内容は大きく3点あります。第1点は、市民の方が社会教育により得た学習成果を活用して行う教育活動等の機会を、図書館は提供したり奨励したりするということです。第2点目は、図書館が事業を行う際には、家庭教育の向上に資するよう配慮するというものです。第3点目は、図書館は運営状況に関する評価や改善、情報提供を行うよう努めるということです。

一方、東京都においては、平成18年に「都立図書館改革の具体的方策」を策定しておりますが、これに基づき平成21年度には、日比谷図書館の千代田区への移管や東京マガジバンクの開設なども行われました。市区町村との関係では、協力貸出しの見直しなども行われております。

国や東京都ではこのような動きがありますが、小平市では、平成18年3月に「小平市第三次長期総合計画―こだいら21世紀構想・前期基本計画―」を策定し、平成18年度から10年間の行政計画を定めています。その中で図書館サービスの基本方針を次のように位置づけています。

(2) 前期基本計画における基本方針

- ① 市民や利用者にとっての便利で頼りになる新しい図書館サービスとして、図書資料や地域資料などの充実とともに、レファレンスサービスや児童サービスを、図書館の基幹的なサービスとして位置づけます。
- ② さらに、情報技術を駆使した図書館の情報機能の充実や情報基盤の整備を促進するとともに、学校図書館との連携を進めます。
- ③ また仲町図書館については、近隣の仲町公民館との建替え時期にあわせて施設の統合化を行い、情報技術により利用者の創造性をより高めていきます。
- ④ 今後、地域に関心が高まることが予想されるなかで、現存する貴重な資料を整備し、提供することにより、小平の市史の編さんを支援するなかで、貴重な歴史や文化を記録し、広く理解してもらうことを進めます。

さらに、平成19年度から行政評価システムの本格実施及び「小平市改革推進プログラム」の実施という具体的な目標管理が開始されました。平成22年3月には、第2次となる子ども読書活動推進計画も策定されました。

以上のような動向を踏まえ、平成22年度の事業計画を次のとおり定めます。

(3) 教育目標における図書館の施策

教育委員会の教育目標における図書館関連の推進事項として次の施策を掲げ、生涯学習と文化の振興を図ります。

- ① 資料・情報の提供
 - 図書資料の貸出及びサービス活動の拡充
 - 図書館資料の充実
 - レファレンス機能の充実
 - 情報基盤の整備
 - 学校図書館との連携推進
 - 図書館ボランティアの参加促進
 - 多摩六都図書館相互利用の推進
- ② 学習・文化施設の整備・充実
 - 図書館施設の整備及び維持管理
- ③ 地域資料の収集・整理・保存・公開
 - 古文書、新聞、写真
 - 地域資料、行政資料

2 推進事項

(1) 主な事業

今年度の主な事業は、次のとおりといたします。

- ① 地域の情報拠点として大きな役割を果たすために、地域資料・情報の充実と情報発信を進めます。
- ② レファレンスの機能を高め充実させるために、地区館へのインターネット開放端末の導入を検討します。
- ③ 「第2次小平市子ども読書活動推進計画」の広報・啓発に努めます。
- ④ 小・中学校との連携を深め、学校図書館データ管理システムの運営を支援するために、学校図書館相談員による巡回を実施します。
- ⑤ 学校図書館との連携推進を図るため、小学校・中学校への協力員の配置を実施します。
- ⑥ 国分寺市との相互利用を検討します。
- ⑦ 仲町図書館建替えのための検討を進め、基本設計を行います。
- ⑧ 郷土写真資料の整理を行います。
- ⑨ 市史編さん事業との連携・協力を進めます。

(2) 改革推進プログラム

小平市では、行財政の再構築を着実に進めるため、「行財政再構築方針」に基づき平成19年度から22年度までの4年間に取り組むべき項目を「改革推進プログラム」として定め、具体的な取り組み内容や推進担当課、計画年度等を明らかにしました。この中で図書館が推進担当課となっているものは、次のとおりです。

① 図書館施設の提供

実施目的：読書人口増加と市民との協力体制の確立に向け、市民の活動機会の提供を図る。

実施内容：図書館活動を推進する団体及びボランティア活動を行う団体に図書館施設（視聴覚室、館外奉仕室、対面朗読室等）を提供する。

年度計画	19年度	20年度	21年度	22年度
	検討	実施	実施	実施
			

② 図書館ボランティア事業の評価

実施目的：図書館ボランティア活動や事業の拡充・改善を図る。

実施内容：図書館ボランティア事業は、平成17年度から本格的に活動を開始し、現在、古文書解読、返却破損図書修理、児童図書リサイクル準備等の活動に取り組んでいるが、今後、活動内容のさらなる改善に向け、図書館ボランティアとともに活動や事業の評価を行い、その後の活動や事業の拡充・改善に活かしていく。

年度計画	19年度	20年度	21年度	22年度
	検討	試行	実施	実施
			

③ 図書館における多様な情報提供

実施目的：多様な情報を提供することにより、図書館サービスの充実を図る。

実施内容：市内図書館に市民開放用のパソコンを設置し、時代に即した最新の情報を提供する。

年度計画	19年度	20年度	21年度	22年度
	中央館導入			
		各地区館導入検討	各地区館導入検討	各地区館導入検討
			

④ 利用者アンケート調査の実施

実施目的：市民ニーズに応じたサービスの実施を図る。

実施内容：定期的に市内の図書館利用者に対するアンケート調査を実施し、事務事業評価に役立てることにより、図書館運営及びサービスの向上を図る。

年度計画	19年度	20年度	21年度	22年度
	検討	実施	実施	実施
			

3 実施事業

以上に掲げた主な事業及び改革推進プログラムを推進するとともに、図書館がより豊かで質の高いサービスを提供できるよう情報技術の積極的な活用を図ります。また、開館以来の運営方針である「はいりやすく、親しみやすい図書館」「簡単な手続きで利用できる図書館」「資料のそろっている図書館」に沿って、多様化する市民ニーズに応えていきます。実施する具体的な事業は、以下のとおりです。

(1) 図書館協議会の開催

図書館協議会（年6回開催）の意見を反映して、図書館サービスの向上を図ります。

(2) 蔵書管理

図書資料の購入、寄贈図書の受入、資料の除籍・廃棄、リサイクルを計画的に進め、的確な蔵書管理を行うとともに、利用者にとって魅力的で使いやすい書架づくりを行います。

- ① 図書の選書・発注・受入
- ② 蔵書データの整備
- ③ 図書の整理・補修
- ④ 除籍図書・寄贈図書のリサイクル
- ⑤ 未返却図書の督促（年10回）

(3) 図書資料等の収集・整理・保存・貸出

市民の生涯学習の多様化、高度化する資料要求に応えるために、より新鮮で魅力のある資料がそろっている図書館を目指して、各館の収集分担に沿って資料等の収集を行います。

(4) 視聴覚資料の収集・整理・保存・貸出

多様な資料要求に応えるために、視聴覚資料を収集・整理し、中央図書館及び地区図書館でCDとカセットテープの貸出を行います。また、中央図書館では視聴覚資料の館内視聴を行うとともに、利用の多いCDの書誌データの整備を行います。

- ① 映像資料（ビデオテープ、DVD等）
- ② 音声資料（CD、カセットテープ、レコード）

(5) 地域資料等の収集・整理・保存及びデジタル化

市民の郷土理解を深めるために、地域に関する資料及び古文書の収集、整理、記録及び保存を行います。また、地域資料のデジタル化を推進します。

- ① 地域資料
- ② 小平市及び図書館の関係新聞記事の切り抜き、整理、複写、製本、索引作成及びホームページへの掲載
- ③ 郷土写真（写真資料のデジタル化、市内定点撮影、古写真の整理・保存・展示）
- ④ 市報及び市内関係リーフレット、パンフレット、ポスター等
- ⑤ 特別文庫（久下文庫・伊藤文庫等）
- ⑥ 小川家御用留文書内容目録の発行
- ⑦ 地域資料のデジタル化
- ⑧ 市史編さん事業との連携・協力

(6) レファレンスサービス

利用者の資料相談に対応するために、各種辞典、事典、目録、索引、年鑑、統計書、法規類集及び文献等の参考図書を整備し、レファレンスサービスの充実を図ります。

- ① レファレンス資料の収集・整理・保存
- ② レファレンス事例のデジタル化の推進
- ③ インターネット開放端末の設置と運用（中央図書館に2台、地区図書館に2台）
- ④ 地区図書館へのインターネット開放端末増設の検討
- ⑤ オンラインデータベースの提供（朝日新聞記事データベース聞蔵Ⅱビジュアル、第一法規法情報総合データベース D1-Law.com、国立印刷局 官報情報検索サービス 中央図書館に専用パソコン1台）
- ⑥ 行政情報サービス及び調査支援の研究
- ⑦ ビジネス支援コーナーの運営（花小金井図書館）

(7) 講座・講演会等の開催

図書資料への理解を深めるために、講演会実施時のアンケート等を参考にして児童文学講演会講座などを実施するとともに、読み聞かせ等の読書活動推進のための実践講座・学習会を行います。

- ① 児童文学講演会（年3回）、児童文学紀行講座の開催（年1回）
- ② 民話講座の開催（年1回）
- ③ 読み聞かせ実践講座の実施（年1回）
- ④ ボランティア入門講座の開催（児童・青少年向き・夏期）
- ⑤ おはなし学習会の実施（中央図書館、地区図書館で開催）

(8) 展示会等の開催

児童文学に関する紀行写真展や絵本原画展等の本に親しむ機会の提供、全国の新聞を集めた新聞展等を行います。

- ① 図書資料展示会の開催（年2回以上）
- ② ふるさとの新聞元旦号展（中央図書館、大沼図書館）

(9) 児童サービス

乳幼児から児童、青少年までを対象に、おはなし会などの本に親しむ機会の提供や絵本展示会を実施し、また、ブックリストの作成・配布を行います。

- ① 子ども読書活動の推進に関する啓発事業「こだいら子ども読書月間」（4月～5月）等の実施
- ② おはなし会の実施（全館・定例）
- ③ 絵本のへやの実施（全館・定例）
- ④ 夏休みおすすめ本リストの作成・配布（市内全小・中学校対象）
- ⑤ 学校課題図書及び夏休み図書館推薦図書の別置
- ⑥ 乳幼児に対する推薦図書リストの配布及び読み聞かせの実践
- ⑦ 子ども文庫への図書団体貸出

(10) 「第2次小平市子ども読書活動推進計画」の広報・啓発等

平成22年3月に策定された「第2次小平市子ども読書活動推進計画」について、広報・啓発を行うとともに進行管理に努めます。

(11) 小・中学校との連携推進

図書館を活用した学習の支援と児童・生徒の読書活動推進のため、学校図書館システムの活用支援や、学校図書館との連携を進めます。

- ① 図書館見学・職場体験学習の受入れ
- ② 学級文庫への図書団体貸出・読み聞かせ等への支援
- ③ 学校図書館との連携の強化
- ④ 学校が進める総合的な学習及び教科の学習支援
- ⑤ 学校図書館相談員の巡回
- ⑥ 学校図書館との連携推進のための協力員の小学校・中学校への配置
- ⑦ 小・中学校図書館を支援するための関係者による会議の開催

(12) 障がい者・高齢者サービス（ハンディキャップサービス）

すべての人が利用しやすい図書館にするために、図書館利用に障がいのある方も利用できる図書資料の提供と環境整備を進めます。

また、関係機関や関係団体と連携を図りながら、きめ細かな図書館サービスの提供に努めます。

- ① 大活字本、点字図書の購入
- ② 布の絵本（さわる絵本）の貸出及びPRの推進
- ③ 録音図書（カセットテープ等）の作成及び貸出
- ④ 対面朗読の実施（中央図書館・大沼図書館）
- ⑤ 在宅障がい者等への図書資料の郵便による送付サービスの実施
- ⑥ 福祉講演会（小川西町図書館）
- ⑦ 点訳絵本の作成
- ⑧ 障がい者対象図書資料展示（小川西町図書館）
- ⑨ 障がい者、ボランティア、関係団体等との連絡会の実施

(13) 複写サービス

著作権法に基づいて図書館資料の複写サービスを行うとともに、集会室利用者のための複写サービスを行います。

- ① 図書資料の複写サービス
- ② 図書館集会室利用者への複写サービス（喜平図書館、上宿図書館）

(14) リクエストサービス

利用者の多様な資料要求に迅速に対応し、資料・情報の提供に努めます。

- ① 所蔵図書の利用予約（貸出予約）
- ② 未所蔵図書の購入（リクエスト購入）
- ③ 相互利用による資料の貸借の促進

(15) 広域利用の推進

都立図書館、多摩六都（小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市）を始め他の公立図書館との相互協力による利用サービスを推進します。

- ① 都立図書館及び多摩地域公立図書館との相互貸借の推進
- ② 都立図書館とのインターネットによる図書資料情報ネットワークの推進
- ③ 多摩六都の公立図書館との相互協力による利用サービス及び連携の推進
- ④ 国分寺市との図書館相互利用についての検討

(16) 図書館関係団体に対する援助・連携

図書館の関係団体として活動している小平市子ども文庫連絡協議会等との連携を図り、幅広い図書館活動を推進します。

- ① 補助金の交付（小平市子ども文庫連絡協議会）
- ② 事業活動への協力及び共催事業の開催

(17) 図書館ボランティア活動の促進

図書館の活性化と地域コミュニティ活動の推進を図り国際化、情報化など、社会の変化に対応し、多様な利用者に対する新たな図書館サービスを展開するために、市民の社会参加による自己実現と世代を超えた交流の場を目指した図書館ボランティアの活動を促進します。

- ① 図書の補修・リサイクルの準備
- ② 古文書整理
- ③ 地域情報のデジタル化

(18) 図書清掃の実施

資料保存対策の一環として返却図書等の清掃を行い、貴重な資料がより長く気持ちよく使えるように心掛けるとともに、効率的な排架を行うために清掃済みの資料を分類順に排列します。

- ① 中央図書館の図書清掃（週6回）
- ② 地区図書館の図書清掃（週3～4回）

(19) 施設の運営管理

利用者の方々が気持ちよく安全に利用できるように、定期的に施設や設備の点検を行い、優先順位を決めて修繕計画を進めます。

- ① 各図書館・分室、東部・西部市民センターの維持管理
- ② 集会室の維持管理・貸出（喜平図書館、上宿図書館）

(20) 図書館施設の提供

市民の活動機会の提供を図り、読書活動と市民との協力体制を推進するため、図書館活動や読書活動を推進する団体に図書館施設（視聴覚室、館外奉仕室、対面朗読室）を提供します。

(21) 実習生や職場体験等の受入れ

図書館事業に対する理解を推進するとともに、将来の図書館を担う人材の育成を図るために、実習生及び職場体験等を受入れます。

- ① インターンシップ・図書館実習生（大学生等）の受入れ
- ② 図書館見学（小学生）・職場体験（中学生）及び視察等の受入れ

(22) 職員研修及び実務研修等

図書館職員としての専門知識と技術を習得し、より良い図書館サービスを実現するため、研修計画を立て、職場研修を実施するとともに、司書講習や実務研修等に積極的に参加させて知識や情報の共有を図ります。

- ① 司書資格取得講習会への派遣（3名）
- ② 全体研修会の開催（年4回）
- ③ 実務研修・各種研究会への参加
- ④ 各種職場研修の実施

(23) 広報活動

図書館の活動内容を広く市民に伝え、より多くの市民に図書館サービスを提供するとともに、図書館への理解と関心を得るために、広報活動を行います。

- ① 図書館だよりの発行（年2回）
- ② 図書館紹介、利用案内、図書館カレンダー等の作成・配布
- ③ 新刊・新着図書案内の発行
- ④ 市報等の活用（「図書アラカルト」、行事等）
- ⑤ 図書館ホームページの整備・活用
- ⑥ 「夏休み家族一日図書館員」の開催
- ⑦ 「図書館探検ツアー」の試行
- ⑧ 「国民読書年」についての広報

(24) 仲町図書館改築に向けての基本設計の実施

仲町図書館は、長期総合計画にもあるとおり仲町公民館と合築をし、リニューアルを図っていきませんが、今年度は、市民の意見をお聞きしながら、基本設計を行います。

この1年間の事業の成果

1 図書館協議会の開催

図書館協議会は、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕について、館長に対し意見を述べる機関として、図書館法第14条第1項の規定により小平市立図書館条例第9条に設置を定めている諮問機関です。今年度の主な審議案件は、次のとおりです。

【表4】 図書館協議会の審議案件

回	開催日	審議案件等
1	平成22年5月20日 (木)	(1)報告事項 ○職員の人事異動について ○図書館運営状況について ○「第2次小平市子ども読書活動推進計画」の刊行について ○平成21年度図書館事業報告について ○小学校学校図書館協力員の配置について ○平成22年度蔵書点検に伴う臨時休館について ○平成22年度司書講習への職員派遣について ○平成22年度ブックリサイクル事業について ○平成22年度子どもの読書活動優秀実践図書館・団体（個人） 文部科学大臣賞の受賞について
2	平成22年7月22日 (木)	(1)報告事項 ○図書館運営状況について ○蔵書点検結果について ○市議会6月定例会について ○実習生の受入れについて ○仲町公民館・仲町図書館建替えに係る方針について
3	平成22年9月16日 (木)	(1)報告事項 ○図書館運営状況について ○実習生の受入れについて ○市議会9月定例会について ○ブックリサイクル事業について ○行政評価について ○小平市行政サービス民間提案制度について ○仲町公民館・仲町図書館改築に伴う基本設計プロポーザルについて
4	平成22年11月11日 (木)	(1)報告事項 ○図書館運営状況について ○平成21年度決算特別委員会について ○教育委員の就任について ○事業仕分けについて ○仲町公民館・仲町図書館改築に伴う基本設計について
5	平成23年1月27日 (木)	(1)報告事項 ○図書館運営状況について ○市議会12月定例会について ○ふるさと新聞元旦号展について ○小平市行政サービス民間提案制度の結果について ○仲町公民館・仲町図書館改築に伴う基本設計について

6	平成 23 年 3 月 17 日 (木)	<p>(1) 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ○図書館運営状況について ○ブックリサイクル実施状況について ○障がい者サービスについて ○御用留内容目録3（小川村 上巻）の刊行について ○市議会3月定例会について ○小平市図書館協議会公募委員選考結果について ○仲町公民館・仲町図書館改築に伴う基本設計について <p>(2) 協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平成23年度小平市立図書館事業計画（案）について ○平成23年度小平市図書館協議会日程（案）について <p>(3) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小平市立図書館の選書基準について
---	-------------------------	--

2 蔵書管理

(1) 図書の選書・発注・受入

児童・一般の各館担当者が、日々、さまざまなメディアの出版情報をもとに、選書を行います。また、新刊本については週1回、選書会議を行っています。

現在、小平市立図書館の資料は、小平書店会、(株)図書館流通センター、(株)紀伊國屋書店及び直販店から購入し、発注から装備納品まで1週間程度と、スピーディな受け入れに努めています。

(2) 蔵書データの整備

現在の書誌データ（資料の書名・著者名・出版社などの目録上の記録）には、同一書誌が重複して登録されているものがあるため、それらを随時訂正及び統合して書誌データの整備を進めました。また、簡易な書誌データは、より詳細で検索しやすいデータに訂正しました。

(3) 図書の整理・修理

長期にわたる保存や頻繁に行われる貸出や交換便による移動等により、新しい資料等であっても経年劣化し、汚損・破損を受けるものが多いが目立ちます。

新規に買い替えの他、絶版等により新規購入ができないもの等について、手作業で補修・修理等を施して資料の確保・保存・貸出に対応しました。

修理は、図書館ボランティアと職員で行いました。

【表5】 資料等補修・修理実績（中央図書館）

内 訳	件 数
ボランティア	2, 509
資 料 係	1, 866
合 計	4, 375

(4) 除籍資料・寄贈図書のリサイクル

① 除籍資料

図書や雑誌、CD等の図書館資料は、さまざまな理由で壊れたり汚れたり、内容が古くなり、

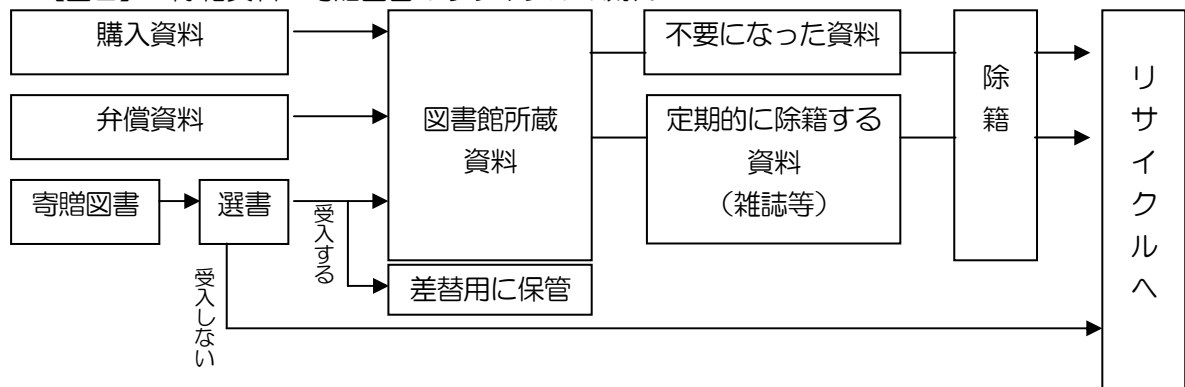
使えなくなることがあります。また、貸出や交換便による移動等によって、徐々に傷んでいくため、資料の状態に応じて除籍・廃棄していく必要があります。また、書架の収容能力にも限界があるため、随時資料の点検と再評価を行って、計画的な除籍・廃棄を行っています。

② 寄贈図書を受入れとリサイクル

寄贈図書のうち平成22年度に図書館資料として受け入れたのは、2,199冊です。

図書館資料として受け入れなかった寄贈図書は、各館で随時リサイクル資料として市民に提供しています。

【図2】 除籍資料・寄贈図書のリサイクルの流れ



【表6】 除籍件数

除籍の内訳	件数
複本・不要	44,554
亡失	1,385
汚損・破損	7,158
紛失	291
その他	425
合計	53,813

③ ブック・リサイクル事業

ブック・リサイクル事業は3回実施し、寄贈資料の一部及び除籍資料の内、複本・不要除籍の資料を提供しました。提供した資料の合計は48,231冊でした。

この事業によって、図書館が所蔵する資料を絶えず更新し、書架スペースの確保に努め、効率的な蔵書管理を図りました。さらに、リサイクルという時代の要請に応え、資源の有効活用を目指しています。

【表7】 ブック・リサイクル事業の実績 (単位：冊)

開催日	対象	提供した冊数
平成22年10月23日(土)	一般書・児童書	19,965
平成23年1月22日(土)	雑誌	12,582
平成23年2月19日(土)	一般書・児童書	15,684
合計		48,231

(5) 未返却図書の督促（年9回）

借用者に対する未返却図書の督促を、1月、3月（東日本大震災による休館）と蔵書点検を実施した6月を除いて9回、計5,454件発送しました。

長期延滞者とリクエスト資料の延滞者に対しては電話による督促を行いました。

貸出時に未返却資料のある方に対しては、随時督促を行いました。

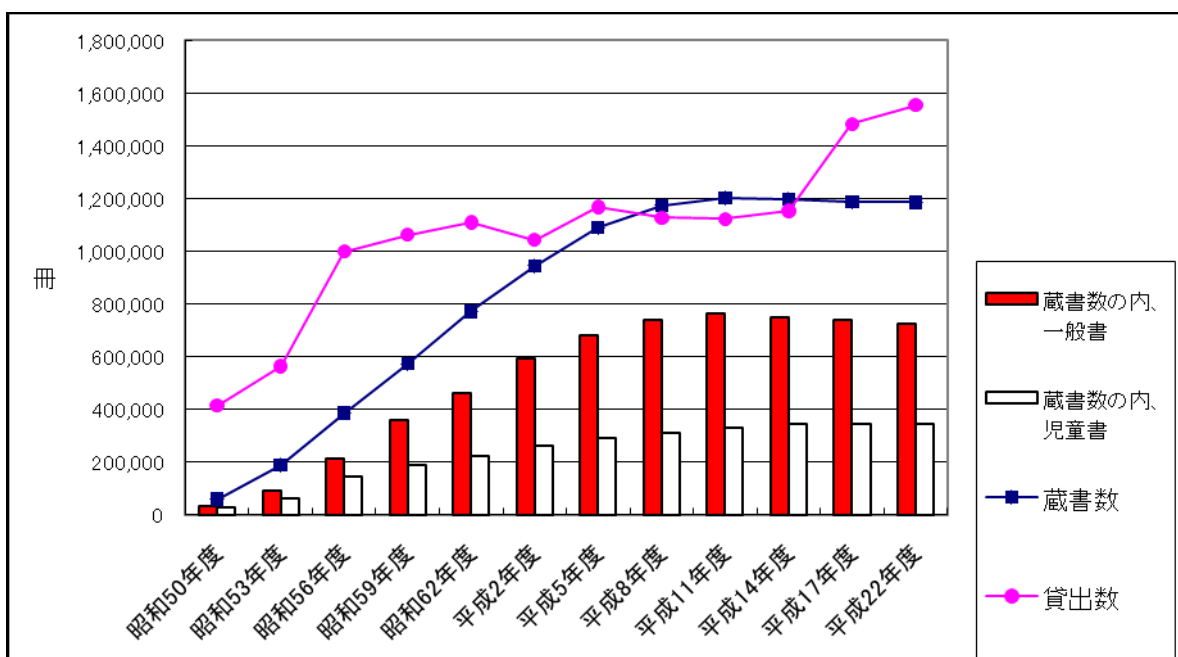
3 図書資料等の収集・整理・保存・貸出

(1) 資料収集と蔵書構成

小平市立図書館の開館以来の基本方針として「資料のそろっている図書館」を目指して運営しており、「小平市立図書館サービス計画」の基本方針に沿って、豊かで質の高いサービスを提供するために資料・情報の充実に努めました。

しかし、図3に見るように平成11年度には蔵書数が120万冊となり、収容能力が限界に到達しています。このため、平成13年度以降ブック・リサイクルを実施し、蔵書冊数の調整を行っています。また、昭和50年度の開館当初は児童書が全蔵書の47.2%を占め一般書とほぼ肩を並べていましたが、昭和62年度には一般書の半分以下となり、平成22年度は全蔵書の29.3%を構成しています。

【図3】 蔵書数・貸出数の推移



また、図4及び図5を見ると一般書と児童書の蔵書構成の違いが現れています。一般書は、文学が36.5%を占め、語学が1.8%と少ないですが、それ以外は3%~11%の間となっています。これに対し児童書は、文学と絵本で全体の73.3%を占め、次に多いのが自然科学で8.1%です。その他は4%以下で、哲学・宗教、家事、語学の3分野は1%以下となっています。

(2) 雑誌

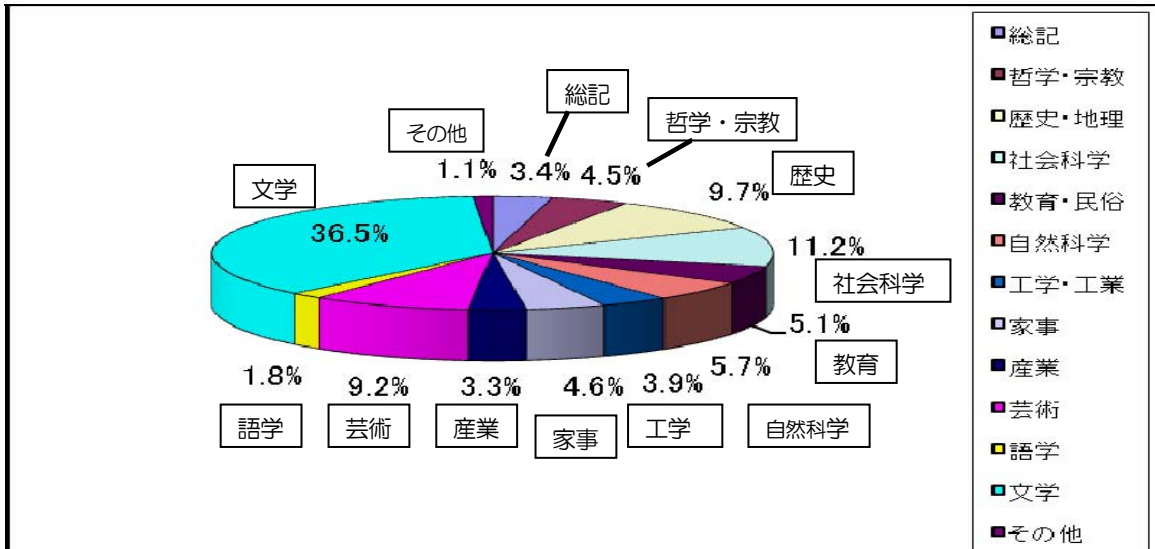
① 原則としてタイトル数の増加はせず、複本で所蔵があるもの、休刊・廃刊等になったものを中心に見直しを行いました。平成22年度からの購入中止雑誌は16誌、休刊・廃刊雑誌は12誌、新規購入雑誌は13誌となりました。

② 中央図書館の参考室には、データ登録をしていないものの、受入・整理している寄贈雑誌が61誌あり、特別貸出で対応しています。

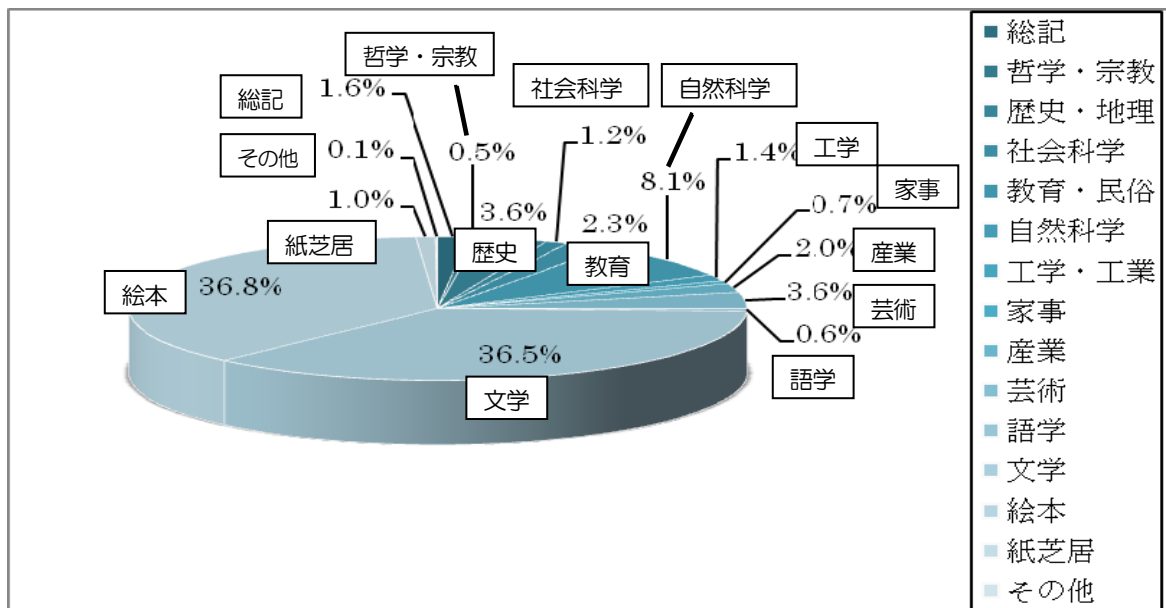
(3) 新聞

主要 6 紙は市内 8 図書館で所蔵し、縮刷版は各館で分担収集しています。

【図 4】 一般書分類別所蔵資料率



【図 5】 児童書分類別所蔵資料率



4 視聴覚資料の収集・整理・保存・貸出

(1) 映像資料 (DVD・レーザーディスク・ビデオテープ)

- ① 映画・教養 (記録)・児童等の各ジャンルより選定し、DVD 80 点を MARC (コンピュータで処理可能な形式の目録) 付で購入しました。これらはすべて館内・館外貸出の著作権許諾済みのものでした。
- ② 館内利用は DVD 1,747 点、レーザーディスク 1,023 点、ビデオテープ 846 点でした。

(2) 音声資料 (CD)

ポピュラー (邦楽・洋楽)・クラシック・児童・朗読・演歌・学芸・教養等の各ジャンルより選定し、CD 30 点を購入しました。

5 地域資料等の収集・整理・保存及びデジタル化

市民の小平への理解を深めるために、地域に関する資料及び古文書の収集、整理、記録及び保存を行っています。また、地域資料のデジタル化を推進しました。

地域資料は、「図書館サービス計画」の「図書以外の資料収集分担表」に従い、全館で分担収集しています。平成22年度末の所蔵資料の点数は次のとおりです。

【表8】 所蔵資料数 (平成23年3月31日現在)

館名	資料名	開始年月	資料数
全館	地域資料(地図・行政資料を含む)	昭和50年4月	64,022
中央図書館	特別文庫	昭和60年7月	21,049
	古文書	昭和50年9月	27,305
仲町図書館	タウン誌・地域情報誌	昭和61年1月	6,106
花小金井図書館	地域の広告、チラシ	昭和54年4月	60,277
喜平図書館	郷土写真(定点写真7,124点を含む)	昭和53年7月	54,816
	郷土写真のデジタル化	平成14年4月	29,823
上宿図書館	地域の新聞記事切り抜き	昭和52年2月	59,680
津田図書館	地域のポスター	昭和63年3月	5,988
大沼図書館	市内在住著作者資料	昭和60年7月	2,515
合計			331,581

(1) 地域資料

地域資料の所蔵資料数は64,022冊で、前年度と比べて1,476冊の増となりました。その内訳は購入437冊、寄贈1,805冊、小平市立図書館刊行物51冊です。また、複本や合冊製本によって除籍した資料数は817冊です。

【表9】 地域資料の所蔵資料数 (単位:冊)

年度	受入資料数	除籍資料数	資料総数
平成20年度	3,660	1,616	61,277
平成21年度	1,993	724	62,546
平成22年度	2,293	817	64,022

【表10】 地域資料分類別受入資料数 (単位:冊)

分類	冊数	分類	冊数	分類	冊数	分類	冊数
A 総記	198	I 財政	130	O 教育	76	U 公害・災害	66
B 歴史	204	J 経済	14	P 文化施設	160	V 産業	445
D 地理	268	K 統計	37	Q 自然科学	23	W 交通・運輸	53
E 民俗	36	L 社会	50	R 土木・建築	14	Y 文学・芸術	28
F 議会	100	M 労働	33	S 都市施設	21	Z 特別コレクション	13
G 行政	198	N 福祉	105	T 保健衛生	21	合計	2,293

(2) 小平市及び図書館の関係新聞記事の切り抜き、整理、複写、製本、索引作成及びホームページへの掲載

小平の地域や図書館に関する新聞記事の切り抜きは、昭和52年2月に小平市図書館（現在の仲町図書館）で開始し、昭和54年度からは花小金井図書館が、平成16年度からは上宿図書館が引き継いでいます。

上宿図書館で原紙の新聞記事を切り抜き、台紙に貼ったものを製本しています。製本した切り抜きは現在184冊で、57,933点の切抜記事を収録しています。また記事索引の作成も併せて行っています。

平成22年度に新たに収集した小平市及び図書館関係記事の件数は、1,747件でした。

(3) 郷土写真（写真資料のデジタル化、市内定点撮影、古写真の整理・保存・展示）

郷土写真事業は、昭和52年に開催した郷土写真展を契機に、昭和53年度から開始しました。昭和56年度からは喜平図書館、平成16年度からは上宿図書館で定点撮影を担当しています。定点撮影、テーマ別撮影、秘書広報課から移管した写真の合計は、現在54,816点です。

① 定点撮影は上宿図書館が、秘書広報課から寄託されたポイント写真520か所（昭和57年撮影）について、平成18年度から5年計画で撮影を行いました。

② 郷土写真のデジタル化は喜平図書館で行っており、平成22年度は7,414点のデータ入力が行われ、現在約29,823点のデジタル化が完了しています。

(4) 市内関係リーフレット、パンフレット、ポスター等

① 新聞に折り込まれた広告（チラシ）は、地域や時代を伝える資料として昭和54年度から花小金井図書館で収集を開始しました。平成22年度は2,535点の広告を収集・整理しました。

② 収集した広告は『小平市リーフレット（広告）』として製本しています。平成22年度は、平成20年の広告を10冊に分けて製本し、製本済みの冊子299冊は中央図書館で保存・提供しています。

③ ポスター収集事業は、昭和63年度から津田図書館で開始したもので、今年度は327枚を新規に収集、整理し、現在5,988枚のポスターを収蔵しています。

(5) 特別文庫

① 久下文庫

化粧史の研究者である久下司氏の旧蔵書で、平成7年に図書館に寄贈された染色化粧文化などの図書6,161冊、雑誌3,335冊の膨大なコレクションです。図書では冊子体の『久下文庫所蔵目録Ⅰ～Ⅳ』を作成しています。「古典籍」については、元慶應義塾大学教授大沼晴暉氏（書誌学）のご尽力によって詳細な目録が設備されています。この文庫の大きな特色は、個人コレクションとしては稀有な古今和歌集の充実があげられます。平成22年12月、国文学研究資料館の古典籍のデータベースに掲載する依頼を受け、目録を提供しました。

② 伊藤文庫

『小平町誌』の編さんに尽力され、近世史の研究にも大きな功績を残された伊藤好一氏の旧蔵書で、平成11年に図書館に寄贈されました。平成13年から3年をかけ関東近世史研究会によって整理され、図書8,273冊、雑誌3,280冊のカード目録が作成されています。平成21年度には目録をデジタル化し、タイトルの50音順のリストを作成しました。これにより、簡易に目的の資料を探ることが可能となりました。

(6) 古文書

市内26家の27, 305点の古文書の整理が終了し、目録が整備されています。また史料集は30集まで刊行しています。古文書は、中央図書館の地域資料室で複写版を閲覧することができ、古文書を活用した小平に関するレファレンスにも応じています。都内の郷土館の展示会への出品や学校の副読本への史料掲載などにも古文書の利用が進んでいます。市史編さんへの資料や情報の提供、古文書整理室の利用の支援も行いました。

平成22年度は、小川村の名主を務めていた小川家に残されている御用留(※)のうち、享保6年(1721)から嘉永6年(1853)までの内容を紹介する「御用留内容目録3(小川村 上巻)」を刊行しました。

(※)「御用留」とは、領主や代官から下達(かたつ)された触書(ふれがき)や廻状(かいじょう)、差紙(さしがみ)などと、村方からの上申した届書、近隣の村役人との相互文書の控等を記録したものです。

(7) 地域資料のデジタル化

- ① 小平市に関する新聞記事データを、図書館ホームページに公開しています。また、平成22年度の新聞記事データをデジタル化し、追加しました。これによって、昭和52年から直近の記事まで検索可能となりました。
- ② 小平事始め年表を、図書館ホームページに公開しました。「小平事始め年表・索引(稿)」(小平市中央図書館編/1991年)をもとに時代を年代ごとに区切り、典拠文献のところには資料の所蔵状況が分かるように編集しました。
- ③ 「市報こ दौर」に掲載されている図書館資料の紹介コラム「図書アラカルト」を継続してデジタル化し、図書館ホームページに公開しました。
- ④ 「小平市図書館だより」の63号(平成22年9月発行)、64号(平成23年3月発行)を図書館ホームページに掲載しました。
- ⑤ 平成22年度、23年度にわたり、小川家文書御用留のマイクロフィルムの複製とデジタル化に取り組んでいます。紙資料を複数の媒体で保存することで、貴重な資料を後世に残すことと利便性の向上を目的としています。

6 レファレンスサービス

利用者のレファレンスに対応するために、各種年鑑、白書、辞典、事典、統計書等の参考図書を整備し、利用者の参考調査の充実に努めました。中央図書館の参考室、花小金井図書館や小川西町図書館に設置したインターネット検索性パソコンや中央図書館では新聞や判例の商用データベースの活用による調査が増加しました。

(1) レファレンス業務の充実

- ① 平成17年度から市内全図書館でレファレンスの受付件数と各図書館で行った所蔵・調査調査の記録をしています。
- ② 職員全員が利用者のレファレンスに対応できるように基礎的な研修を行い、レファレンス業務の向上を図りました。

【表 11】レファレンス統計の推移

(単位：件)

年 度	中 央		地区図書館		合 計		全館合計
	所蔵	参考	所蔵	参考	所蔵	参考	
平成18年度	8,381	316	15,439	143	23,820	459	24,279
平成19年度	11,201	83	22,522	144	33,723	227	33,950
平成20年度	8,856	222	18,759	167	27,615	389	28,004
平成21年度	6,198	225	21,633	389	27,831	614	28,445
平成22年度	7,476	429	19,579	444	27,055	873	27,928

【表 12】レファレンス記録票件数の推移（記録票に記入された事例件数）

(単位：件)

年 度	中 央		地区図書館		合 計		全館合計
	所蔵	参考	所蔵	参考	所蔵	参考	
平成18年度	178	52	11	0	189	52	241
平成19年度	96	52	11	12	107	64	171
平成20年度	149	66	78	33	227	99	326
平成21年度	46	110	24	38	70	148	218
平成22年度	25	206	3	15	28	211	249

(2) レファレンス資料の収集・整理・保存

- ① 平成22年度は、新たに331冊の参考資料を受け入れました。参考図書は299冊、寄贈図書から参考資料として活用できるものを32冊受け入れました。新刊の参考図書を充実させ、白書、新聞縮刷版、復刻資料等の継続資料を購入するとともに、内容情報や統計資料の古いものなどの確認を行い、各分野の新しい参考図書を購入するなど更新に努めました。
- ② 参考室内の新着コーナーでは利用者に向けて、参考図書や小平市の行政資料や地域資料を展示し、わかりやすい案内に努めました。

(3) レファレンス事例のデジタル化の推進

小平市立図書館の参考業務のなかで実際に調査した「小平に関する地域関係レファレンス」事例について、資料・内容の確認作業を進め、図書館ホームページに公開している「小平に関するレファレンス事例集」に5点の事例を追加しました。現在、20例を公開しています。

(4) インターネット開放端末の設置と運用

中央図書館参考図書室にインターネットに接続できるパソコン2台と商用データベースを検索できるパソコン1台を、花小金井図書館、小川西町図書館にもインターネット接続ができるパソコンを各1台設置しています。

中央図書館の利用は前年度より増加し、花小金井図書館、小川西町図書館の利用も大きく増加しており、3館とも利用が進みました。また、商用データベース用パソコンについても、利用が増加しました。

さらに、平成22年2月から中央図書館参考室にパソコン用電源席を2席設置しました。平成22年度は959件の利用がありました。

【表 13】 インターネット開放端末利用件数の推移 (単位：件)

年 度	商用データベース用パソコン (1台)	インターネット用パソコン (4台)			合 計		
	中央 (1台)	中央 (2台)	花小金井 (1台)	小川西町 (1台)	中央館 合計	地区館 合計	全館合計
平成19年度	79	1,855	—	—	1,934	—	1,934
平成20年度	77	2,751	—	—	2,828	—	2,828
平成21年度	91	2,274	374	245	2,365	619	2,984
平成22年度	96	2,496	643	773	2,592	1,416	4,008

(5) 商用データベースの提供

朝日新聞記事データベース「聞蔵Ⅱビジュアル」(朝日新聞)、法情報総合データベース(第一法規)、「官報情報検索サービス」(国立印刷局)の3種が検索でき、複写サービスも提供しています。

(6) 行政情報サービス及び調査支援の研究

商用データベースを活用した情報提供など、市役所職員に向けての資料・情報提供を行いました。

7 講座・講演会等の開催

図書資料や読書活動への理解を深めるために、講演会実施時のアンケート等を参考にして児童文学講演会・講座などを実施するとともに、読み聞かせ等の読書活動推進のための実践講座・学習会を行いました。

(1) 児童文学講演会(年2回)・児童文学紀行講座の開催(年1回)

児童文学や絵本に関する講演会・講座のほか、大人対象のおはなし会を2回開催しました。

【表 14】 講演会・講座の内容

開催日	講演会・講座名	対象・参加人数
平成22年 7月 8日	大人のためのおはなし会(第1回)	一般・24人 (津田図書館)
平成22年 9月 8日 平成22年 9月15日	児童文学紀行講座「絵本で旅するイギリス」 (全2回)	一般・延べ95人 (中央図書館)
平成22年10月14日	スライド講座「トムは真夜中の庭で～作品の 舞台を訪ねて～」(池田正孝氏)	一般・51人 (中央図書館)
平成22年11月11日	大人のためのおはなし会(第2回)	一般・22人 (花小金井図書館)
平成22年11月17日	児童文学講演会「児童文学にえがかれた家族」 (市村久子氏)	一般・53人 (中央図書館)
平成23年 1月29日	児童文学講演会「藪内正幸と動物の世界」 (藪内竜太氏)	一般・68人 (中央図書館)

※3月に開催予定だった「子ども科学講演会」は、東日本大震災による休館のため中止になりました。

(2) 民話講座の開催（年1回）

全3回の民話講座「カリジェの絵本とスイスの習俗」を開催しました。（岡部由紀子氏）

【表15】民話講座の内容

開催日	講座名	対象・参加人数
平成23年2月12日	『ウリスリのすず』の舞台と物語の背景	一般・延べ154人 (中央図書館)
平成23年2月19日	『フルリーナと山の鳥』とアルムの暮らし	
平成23年2月26日	鈴の音が響くスイスの仮面祭	

(3) 読み聞かせ実践講座の実施（年1回・中央図書館）

小学校などで子どもたちに読み聞かせをしている方、これから実演の予定のある方を対象に開催しました。5月19日、27日、6月3日の3回の講座に延べ53人が参加しました。

(4) ボランティア入門講座の開催（児童・青少年向き・夏期）

8月23日から8月26日の4日間、小学校5年生から大学生までを対象に募集をし、中央図書館で「夏休み図書館ボランティア体験講座」を開催しました。今年で7回目の開催で、11人が参加し、説明会を含めて6回の講座に延べ56人が参加しました。内容は、児童図書のパ架、おはなし会のおみやげ作り、ポスターの作成、児童向けおはなし会の誘導等で、作成した案内ポスターや季節の飾りは、児童コーナーに展示しました。

(5) おはなし学習会の実施（中央図書館・地区図書館で開催）

質の高いおはなし会を実施するために、図書館の児童担当職員と小平市子ども文庫連絡協議会のおはなし担当者を対象に「おはなし（ストーリーテリング）」を実演し、専門講師の指導を受ける学習会を開催しました。開催回数は7回で、延べ238人が参加しました。また、「読み聞かせ」を担当する職員全員が学習できる機会としてベテランの担当者のアドバイスによる「おはなし自主学習会」を24回実施し、より専門性の高いサービスに努めました。

自主学習会の参加者は、延べ367人です。

8 展示会等の開催

小平市立図書館での講演会の歴史、絵本や絵本原画展等の本に親しむ機会の提供、全国の新聞を集めた新聞展等を行いました。

(1) 展示会の開催

【表16】展示会の内容

開催期間	展示会名	会場
平成22年2月20日 ～4月15日	写真展「アーサー王伝説をめぐる旅」	中央図書館 2階展示ギャラリー
平成22年4月17日 ～7月14日	海外で愛される日本の絵本	
平成22年7月17日 ～10月20日	国民読書年事業「講演会の樹～図書館の講演会、講座にいらした講師の方々～」	
平成22年10月23日 ～平成23年1月19日	イェルク・ミュラーの世界	
平成23年1月22日 ～3月16日	薮内正幸絵本原画展	

(2) ふるさとの新聞元旦号展（中央図書館、大沼図書館）

元旦号の新聞の提供を全国の新聞社に依頼し、55紙の寄贈を受けて展示を行いました。また期間中、地方出版物の展示・貸出も併せて行いました。中央図書館では、平成23年1月5日（水）から1月13日（木）まで、大沼図書館では、1月15日（土）から1月19日（水）まで開催しました。

9 児童サービス

(1) 子ども読書活動の推進に関する啓発事業「こだいら子ども読書月間」（4月～5月）等の実施

「こだいら子ども読書月間」として、4月1日（木）から5月6日（木）まで、市内全図書館で「子ども読書の日」に関する事業として、前年度のおはなし会で読み聞かせをした絵本の展示、布の絵本の展示などを行いました。

(2) おはなし会の実施（全館・定例）

児童を対象に4歳から1年生、小学生と2回に分け、おはなし（ストーリーテリング）と絵本の読み聞かせを行う「おはなし会」を実施しています。

【表17】 おはなし会の開催回数と参加人数

館名	4歳から1年生		小学生		合計	
	開催回数	参加人数	開催回数	参加人数	開催回数	参加人数
中央図書館	43	892	43	628	86	1,520
仲町図書館	23	90	23	90	46	180
花小金井図書館	23	273	23	105	46	378
小川西町図書館	23	92	23	139	46	231
喜平図書館	23	231	23	153	46	384
上宿図書館	23	134	23	204	46	338
津田図書館	23	75	23	89	46	164
大沼図書館	23	191	23	190	46	381
合計	204	1,978	204	1,598	408	3,576

また、中央図書館では、親子で参加できる企画として、夏休みにちょっと怖いおはなしを楽しむ会として「夜のおはなし会」を実施しました。

夜のおはなし会

日時：平成22年8月26日（木）

会場：中央図書館

対象：4歳～小学生の子どもとその保護者

内容：おはなしと紙芝居

参加者：94人

さらに、12月のクリスマスの時期にはおはなし会を拡大して、大型絵本の読み聞かせや映画などを行う「おたのしみ会」を全館で実施しました。

【表 18】おたのしみ会の参加人数

館名	4歳から1年生	小学生	4歳から小学生
	参加人数	参加人数	合計参加人数
中央図書館	—	—	57
仲町図書館	66	28	94
花小金井図書館	27	11	38
小川西町図書館	—	—	99
喜平図書館	—	—	45
上宿図書館	—	—	67
津田図書館	—	—	75
大沼図書館	—	—	75
合計			550

(3) 絵本のへやの実施（全館・定例）

手遊び、わらべうたなども取り入れ、0～3歳児とその保護者を対象に実施しています。今年度は、延べ92回開催し、1,653人の参加者がありました。この「絵本のへや」は、乳幼児への読み聞かせと絵本の紹介の場であると同時に、母親たちの仲間づくり、情報交換の場としての役割も果たしています。また、3～4か月児健診時にも紹介し、参加を呼びかけています。

【表 19】絵本のへやの開催回数と参加人数

館名	開催回数	幼児参加人数	大人参加人数	合計
中央図書館	12	167	163	330
仲町図書館	11	76	63	139
花小金井図書館	11	170	124	294
小川西町図書館	12	72	69	141
喜平図書館	12	192	175	367
上宿図書館	11	27	27	54
津田図書館	11	41	38	79
大沼図書館	12	135	114	249
合計	92	880	773	1,653

(4) 夏休みおすすめ本リストの作成・配布（市内全小・中学校対象）

図書館が作成した小学生向き、中学生向き「おすすめ本」紹介リストを市内の小・中学校の児童・生徒に配布しました。リスト掲載の資料は、夏休みの期間中、別置き、貸出を行いました。

別置冊数…小学生向き 1,172冊 中学生向き 333冊

(5) 学校課題図書及び夏休み図書館推薦図書の別置き

各図書館が担当する地域の小・中学校から課題図書のリストをいただき、夏休み期間中は、児童コーナーに図書を別置きして貸出を行いました。

(6) 乳幼児に対する推薦図書リストの配布及び読み聞かせの実践

- ① 健康センターで実施する3～4か月児健診時に、児童担当職員1～3人が待ち時間等を利用して、絵本の紹介や絵本リスト「よんでよんでの絵本みつけた」の配布を行っています。
- ② 来場している赤ちゃんや兄弟姉妹に読み聞かせの実演をしたり、図書館行事「絵本のへや」の紹介をするなど、幼いころから本に親しむことの大切さを呼びかけています。今年度は、3,074人の親子に実施しました。

(7) 子ども文庫への図書団体貸出

小平市子ども文庫連絡協議会の子ども文庫に児童図書の団体貸出を行い、文庫の総蔵書数は現在4,554冊となっています。今年度は、市内の4つの子ども文庫で延べ728人の子どもに合計1,011冊の図書を貸出しました。

10 第2次小平市子ども読書活動推進計画の推進

平成22年3月、子どもたちの豊かな読書環境の整備や施策の推進を図るため、平成22年度から5年間の計画である第2次計画を策定しました。第2次計画では、学校図書館の充実、学校と市立図書館の連携について重点を置くとともに、これまでの児童サービスをさらに充実し、年度ごとに進捗状況の確認、公開を行い施策の実現に努めていきます。初年度の平成22年度は、小学校にも学校図書館協力員が配置され、学校図書館との連携推進事業による学校図書館図書配送便を利用した調べ学習用の図書の貸出が増加するなど連携が進みました。

11 小・中学校との連携促進

(1) 図書館見学・職場体験学習の受入れ

- ① 市内の小学校の図書館見学を受け入れ、今年度は13校の30学級924人の児童が見学しました。
- ② 中央図書館と地区図書館で小学校3校13人、中学校延べ23校60人の職場体験を受け入れ図書館のカウンターサービスなどを実際に体験してもらいました。

(2) 学級文庫への図書団体貸出・読み聞かせ等への支援

今年度は、学級文庫として小学校17校へ11,974冊の図書の貸出をしました。

図書館職員の派遣として、小・中学校9校で読み聞かせやブックトークを授業時間などで行いました。また、学校図書ボランティアに対して読み聞かせ、修理、図書室整備などの講座を7回実施しました。

(3) 学校図書館との連携の強化

年1回、市内小中学校の図書館担当教諭との連絡会議を開催し、意見交換、情報交換の場として、相互理解・協力体制を深めています。

また、司書教諭等連絡協議会に学校図書館担当者、相談員が参加し、学校図書館との連携事業について紹介をしています。

(4) 学校が進める総合的な学習及び教科の学習支援

調べ学習用に図書館が図書の貸出を行っています。今年度は小学校17校へ6,118冊、中学校7校へ536冊の図書を「学校図書館図書配送便」を利用して貸出しました。

(5) 学校図書館相談員の巡回および相談業務

学校図書館相談員2人は、小中学校を巡回して学校図書館を支援しています。相談内容は、学校図書館システムの操作、図書の排架・整理、図書館活動などで、延べ125回巡回しました。

22年度からは、これまでのように各学校を巡回して相談を受けるといった支援に加え、小・中学校と図書館との連絡調整や授業支援なども重要と考え、教科関連図書リスト作成の準備をはじめ、協力員ガイド、ブックトーク案の作成、相談員便りの発行など支援内容の充実を図りました。

(6) 学校図書館との連携推進事業

平成18年度から全中学校へ協力員を配置してきましたが、22年度から全小学校へも協力員を配置し、小平市立小・中学校全27校に各校1名の配置が整いました。

協力員の配置によって、学校の読書活動に対する取り組みが積極的になり、児童・生徒の読書活動もより活性化され、貸出冊数も順調に増えるなど大きな成果をあげることができました。また、配送便による調べ学習用図書の特別団体貸出も活発な利用があり、学校と公共図書館の連携の推進が図られました。

協力員の研修会は中央図書館にて小・中学校各7回実施し、内容は学校図書館システムの操作、図書修理、読み聞かせやブックトークの習得などでした。

また、図書館を活用した調べ学習や、教科の学習を支援するための配送便は全37回実施し、小学校19校延べ274回、中学校6校延べ13回で、13,726冊の利用がありました。

12 障がい者・高齢者サービス

障がい者サービスは、小川西町図書館を中心館として位置づけ、中央図書館では著作権の許諾や対面朗読室の対応等を担当しています。

ボランティアの朗読サークル3団体、点訳サークル2団体、拡大写本・布の絵本のサークル1団体、小平市社会福祉協議会などと連携をとり、図書館利用に障がいのある人へのサービスを行っています。

(1) 障がい者・高齢者を対象とした資料

・大活字本131冊、CD181点を購入しました。

(2) 中央図書館では子ども読書月間に布の絵本の展示を行い、PRの促進を図りました。

(3) 録音図書（カセットテープ）の作成及び貸出

- ① 今年度、新たな朗読テープの作成はなく、所蔵点数は、197タイトル1,126巻です。
- ② 録音図書の貸出依頼は、他の自治体の図書館から7件あり、郵送貸出をしました。
- ③ 障がい者及び高齢者に対し、前年度に引き続き録音図書とは別にカセットテープの貸出（1人5タイトル）を実施しました。

(4) 視覚障がい者等へ個人郵送貸出を行いました。

- ・録音図書 94タイトル（486巻）
- ・図書資料 86点
- ・点字資料 164点

デイジー図書（※）の貸出はありませんでした。

（※）デイジー（DAISY）図書とは Digital Accessible Information System の略で、視覚障がい者用世界標準規格に基づいてCD-ROMで作成された録音図書のことです。CD-ROM形式のため、再生には専用プレーヤーかWindowsパソコンが必要です。

(5) 障がい者の方への行事として、11月20日に「人と犬の共生」と題して、福祉講演会が小川西町図書館で行われ、33人の参加がありました。

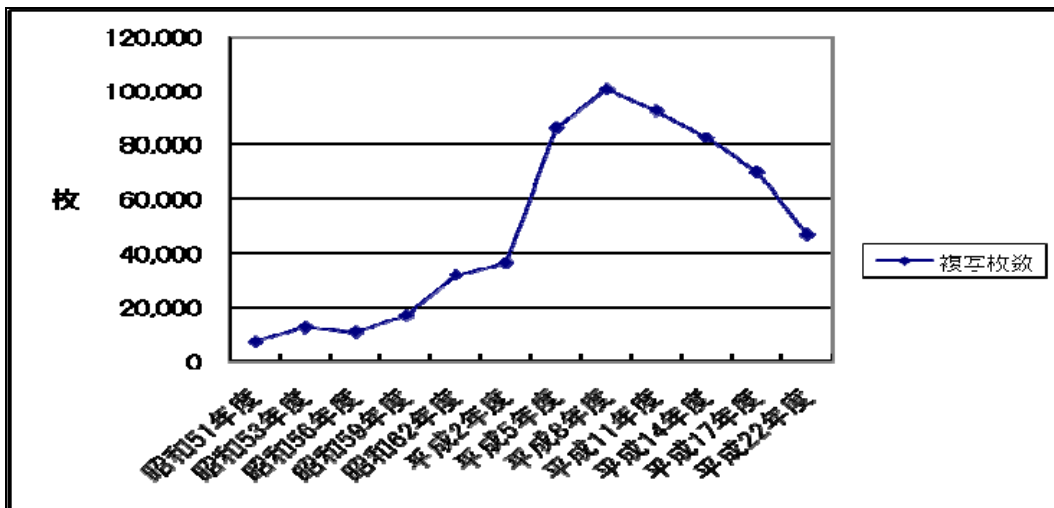
(6) 平成22年3月には、毎年1回行っている「障がい者サービス交流会」を開催し、障がい者、図書館、社会福祉協議会、ボランティア団体、小平図書館友の会等と、対面朗読の実施等について意見交換を行いました。

13 複写サービス

小平市立図書館では昭和51年度から複写サービスを開始しました。中央図書館が開館する前年度の昭和59年度までは2万枚未満で微増傾向でしたが、平成2年度から8年度にかけては急激な伸びを示し、平成8年度には10万枚を超えています。それ以降は減少の一途をたどっており、インターネットの普及等、情報化時代を反映した傾向が現れています。

平成22年度の複写枚数は46,472枚でした。

【図6】 複写サービスの推移



14 リクエストサービス

(1) 所蔵資料の利用予約（貸出予約）

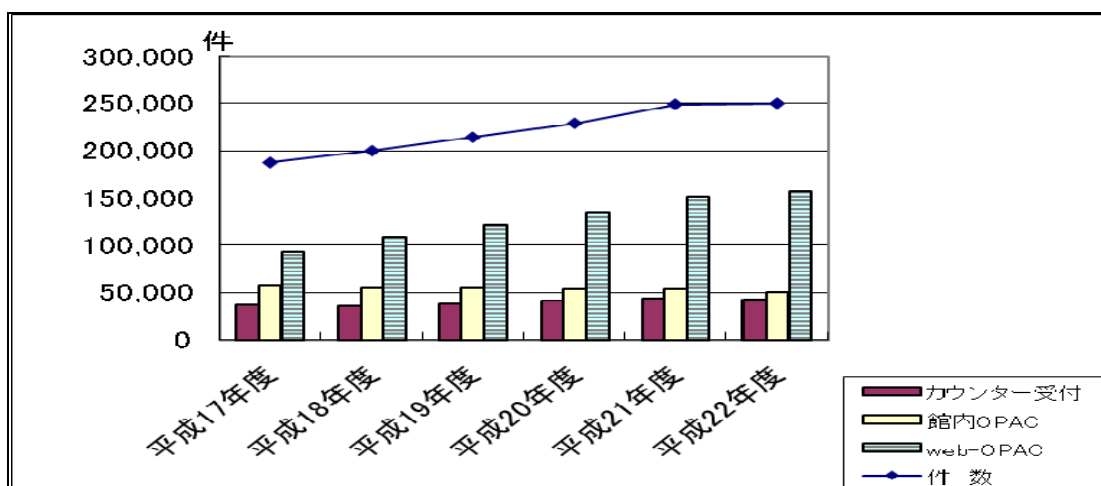
利用者の求める図書資料を提供するリクエストサービスは、平成15年度からWeb予約、全件予約を開始したことにより、飛躍的に増加しました。伸び率は落ち着いてきましたが、Web-OPACでの予約は伸び続けています。

【表20】 リクエスト件数の推移

(単位：件)

年度	カウンター受付	館内 OPAC	Web-OPAC	総件数	前年度比
平成17年度	36,871	57,590	93,412	187,873	112%
平成18年度	36,005	54,897	109,299	200,201	107%
平成19年度	37,658	54,463	122,419	214,540	107%
平成20年度	40,840	53,185	135,213	229,238	107%
平成21年度	43,805	53,156	152,200	249,161	109%
平成22年度	42,530	50,147	157,459	250,136	100%

【図7】 リクエスト件数の推移



(2) 未所蔵図書を購入(リクエスト購入)

利用者の求めに応じたリクエストとして、2, 404冊の資料を購入しました。

(3) 相互利用による資料の貸借の促進

未所蔵資料のリクエスト対応として、都立図書館から1, 936冊、多摩六都(※)の構成市から1, 553冊、その他の市区町村から1, 750冊、国会図書館から11冊の計5, 250冊を借用しました。また、相互協力として、多摩六都に2, 385冊、その他の市区町村に3, 730冊の計6, 115冊の資料を貸出しました。

(※)多摩六都とは、多摩北部都市広域行政圏協議会を構成する多摩北部の5つの自治体(小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市)の圏域をいいます。

15 広域利用の推進

(1) 都立図書館及び多摩地域公立図書館との相互貸借の推進

相互貸借は、前年度に比べ、貸出は7. 1%増加し、借用は2. 9%減少しました。都立図書館のホームページの「東京都公立図書館横断検索」によって、都内図書館蔵書約3,800万冊を簡単に検索でき、予約もできるため、区部との相互貸借も増加しています。

【表21】 相互貸借の実績

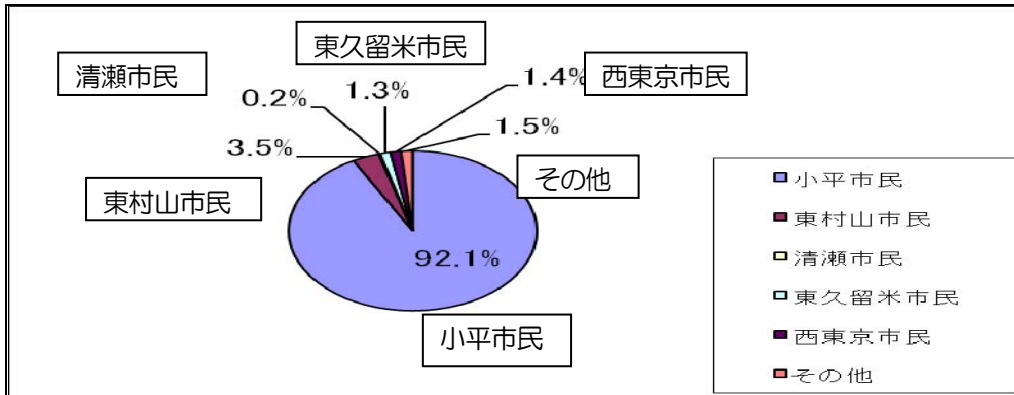
(単位: 冊)

年度	貸借	都立図書館	多摩六都	その他	合計冊数	前年比
平成20年度	貸出	0	2, 686	3, 402	6, 088	7. 7%
	借用	2, 274	1, 147	1, 985	5, 406	△0. 1%
平成21年度	貸出	0	2, 495	3, 216	5, 711	△6. 2%
	借用	2, 346	1, 337	1, 724	5, 407	0. 0%
平成22年度	貸出	0	2, 385	3, 730	6, 115	7. 1%
	借用	1, 936	1, 553	1, 761	5, 250	△2. 9%

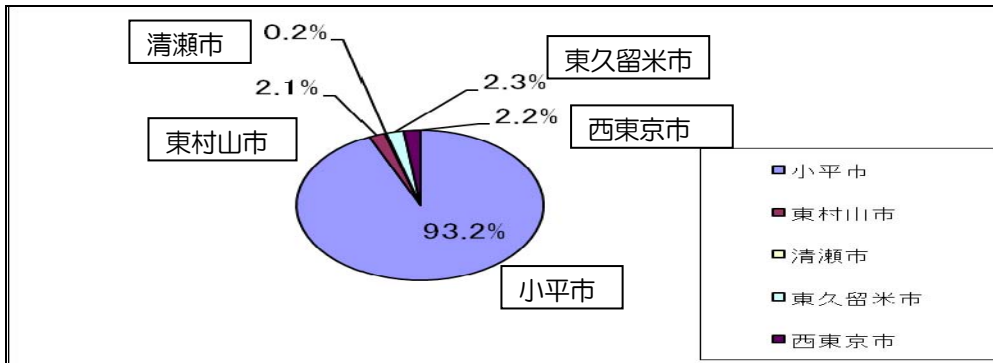
多摩六都の平成22年度広域利用状況は図8及び図9のとおりです。小平市立図書館の貸出資料数を見ると、小平市民の利用が92. 1%を占めています。広域利用として小平市立図書館の利用は、小平市に隣接している東村山市民が3. 5%、東久留米市民が1. 3%、西東京市民が1. 4%で、隣接していない清瀬市民は0. 2%です。これに対し小平市民の広域利用は、小平市に隣接している東村山市が2. 1%、東久留米市が2. 3%、西東京市が2. 2%で、隣接して

いない清瀬市は0.2%です。このことから、隣接市の図書館を相互に利用しており、広域利用が一定の効果을上げています。

【図8】 小平市立図書館の広域利用状況



【図9】 小平市民の広域利用状況



(2) 都立図書館とのインターネットによる図書資料情報ネットワークの推進

都立図書館のホームページでは図書館関係の多様な情報が提供されており、蔵書検索や東京都の図書館横断検索を始めレファレンスの申込みやレファレンス事例のデータベース、雑誌記事索引、図書館関係リンク集、法律情報・医療情報・ビジネス支援サービス等の充実した内容の情報が整備されています。

これらの情報を積極的に利用するとともに、より効率的かつ効果的な情報提供に努めるために、都立図書館の研修に積極的に参加し、担当者の連絡会議や研究会を通して図書資料情報ネットワークの推進を図りました。

(3) 多摩六都の公立図書館との相互協力による利用サービス及び連携の推進

多摩北部都市広域行政圏を構成する小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市の図書館担当者が、多摩六都図書館担当者連絡会を設置し、図書館の相互協力を促進する目的で、利用サービス及び連携の推進を図りました。

① 視察研修について

日時：平成22年11月11日（木）

視察先：豊島区立中央図書館ひかり文庫

内容：ハンディキャップサービス業務に関すること及び施設見学

② 多摩六都図書館ガイドブックについて

ガイドブック発行によるPR効果が大変効果的であることから、今年度も継続して発行し、並行してホームページ版ガイドブックの更新を進めました。

(4) 国分寺市との図書館相互利用についての検討

国分寺市と相互利用に関する課題の整理や検討を行うため、図書館の実務レベルでの情報交換を行いました。今後も実現に向けて協議を継続して行います。

16 図書館関係団体に対する援助・連携

(1) 補助金の交付

小平市子ども文庫連絡協議会に対して補助金を交付しました。(補助金額 285,000 円)

(2) 事業活動への協力

子ども文庫連絡協議会と相互に協力し、講演会を行いました。

① 日 時：平成22年6月12日(土)

会 場：中央図書館

演 題：スライド講座「リンドグレーンの作品の地を訪ねて」

講 師：池田正孝氏

参加者：49人

② 日 時：平成22年7月31日(日)

会 場：中央図書館

演 題：「子どものころ 詩のころ」

講 師：工藤直子氏

参加者：90人

17 図書館ボランティア活動の促進

図書修理等を行う一般ボランティア及び古文書ボランティア、情報ボランティアが活動しました。担当職員と一般ボランティアグループとの懇談会を実施しました。

図書館ボランティア活動の実施結果は次のとおりです。

【表 22】 図書館ボランティア活動実績

年 度	一般ボランティア		古文書ボランティア		情報ボランティア (19年7月～)	
	活動日数	参加人数	活動日数	参加人数	活動日数	参加人数
平成20年度	45	132	47	202	11	52
平成21年度	54	301	40	171	12	83
平成22年度	52	370	42	167	11	86

18 図書清掃の実施

利用者に、図書を気持ちよく借りていただくため、図書館サービスの一環として、返却本のエタノール消毒を行っています。平成22年度は、下記の内容でシルバー人材センターに業務委託して実施しました。

【表23】 図書清掃（消毒）の実施状況

館名	実施時間	実施曜日
中央図書館	9時～12時	火・水・木・土 月(4・5・6・12・1・2・3月)
	9時～15時	日 月(7・8・9・10・11月)
仲町図書館	13時～15時	月・水・土
花小金井図書館	9時～12時	火・木・土・日
小川西町図書館	13時～15時	月、水・土
喜平図書館	9時～12時	月・水・日
上宿図書館	13時～16時	月・水・土
津田図書館	14時～16時	7・8月を除く月・水・土
	13時～16時	7・8月の月・水・土
大沼図書館	13時～15時	月・水・土

19 施設の運営管理

(1) 各図書館・分室、東部・西部市民センターの維持管理

図書館及び東部・西部市民センターを、市民の方々が気持ちよく安全に利用できるように、定期的に各施設や設備の点検を行いました。

この点検により、いくつかの不具合箇所が早期に発見でき、補修及び修繕を行いました。

また、緊急雇用創出事業の中で、東部市民センター内の駐車場、駐輪場の監視、巡回警備を行い整備に努めました。

(2) 集会室の維持管理・貸出（喜平図書館、上宿図書館）

集会室は、市民相互の交流及び市民文化の向上を目的に設置されたものです。

平成22年度の利用は、喜平図書館で604件、6,914人、上宿図書館で223件、1,808人、合計で827件、8,722人でした。

【表24】 集会室貸出件数

年度	喜平図書館	上宿図書館	合計
平成20年度	608	207	815
平成21年度	665	213	878
平成22年度	604	223	827

20 図書館施設の提供

図書館施設の活用を図るため要綱を制定し、図書館事業や読書に関する活動を推進、実施する団体等へ、中央図書館の視聴覚室、対面朗読室、館外奉仕室を提供しました。

【表25】 中央図書館施設利用実績

	視聴覚室		対面朗読室		館外奉仕室		合計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
平成21年度	14	467	51	161	100	1,149	165	1,777
平成22年度	10	477	52	162	79	939	136	1,250

21 実習生及び職場体験学習等の受入れ

(1) 図書館実習生（大学生等）の受入れ

- ① インターンシップ制度に基づき実習生を受入れました。
 平成22年8月10日～8月16日 首都大学東京2人
 平成22年8月10日～8月23日 創価大学2人
- ② 司書資格取得のための実習生を受入れました。
 平成22年8月10日～8月23日 駿河台大学1人、明星大学1人

(2) 図書館見学・職場体験学習及び視察等の受入れ

① 図書館見学

図書館見学は主に小学校3年生が対象で、図書館の利用方法の説明、おはなし会、図書の貸出、館内見学の内容で実施しました。今年度の図書館見学は、小学校13校30クラスの924人と幼稚園1園の73人でした。

【表26】図書館見学の受入れ実績

館名	小学校数	クラス数	人数	幼稚園数	人数
中央図書館	3	6	158	1	73
仲町図書館	1	2	74		
花小金井図書館	1	3	103		
小川西町図書館					
喜平図書館	4	8	256		
上宿図書館	2	4	95		
大沼図書館	2	7	238		
合計	13	30	924	1	73

② 職場体験

職場体験は主に中学生を対象に受け入れました。カウンター業務を中心に、図書の排架、図書整理等を体験し、図書館業務への理解を深めました。今年度の職場体験は、小学校3校の13人、中学校23校の60人。

【表27】職場体験の受入れ実績

館名	小学校数	人数	中学校数	人数
中央図書館			7	21
仲町図書館			2	6
花小金井図書館	1	6	3	10
小川西町図書館	1	5	1	1
喜平図書館			2	5
上宿図書館			2	5
津田図書館	1	2	4	8
大沼図書館			2	4
合計	3	13	23	60

- ③ 視察の受入れ
行政視察として、6団体を受け入れました。

【表 28】 視察の受入れ内容

視察日	自治体名	視察内容
5月18日(火)	京都府舞鶴市市議会	市有施設の太陽光発電システム及び雨水利用施設(東部市民センター)
5月27日(木)	福岡県小郡市立図書館	学校図書館支援活動
7月28日(水)	静岡県島田市市議会	学校図書館相談員の巡回事業
11月5日(金)	長野県東御市立図書館	小平市立図書館の運営について
11月30日(火)	埼玉県地域史料保存活用連絡協議会	図書館施設、資料保存庫
1月13日(木)	大阪府堺市立図書館	地域資料、古文書、郷土写真等の収集・整理・保存について

2.2 職員研修及び実務研修等

(1) 司書資格取得講習会への派遣(3人)

図書館職員としての専門的知識と技術を習得するため、亜細亜大学で実施される司書講習に平成22年7月27日から9月21日まで3人の職員を派遣し、図書館職員の資質の向上を図りました。

(2) 全体研修会の開催(年4回)

全館の全職員を対象に年4回(4月・7月・12月・2月)の図書館職員研修会を開催し、毎回テーマを設定して図書館事業の意義や課題について研修を深めるとともに、専門研修に参加した職員からの報告及び職員を講師とした専門研修を開催しました。職員一人ひとりの小平市立図書館職員としての専門性を高めました。

【表 29】 職場研修の内容

開催日	研修内容	対象者
平成22年4月15日	平成22年度図書館事業計画 接遇 ―カウンターでの対応― 複写サービスについて 図書の汚破損・弁償・寄贈について 子ども読書活動推進計画について 学校図書館連携推進事業について	全職員及び 嘱託職員
	【新任職員研修】 図書館の勤務体制、図書館概要、蔵書管理 レファレンスサービス 図書館サービス	新任職員 異動職員
平成22年7月15日	レファレンス入門 研修報告 ・子どもの読書に関する講座 ・朗読者講習会専門研修 ・電子図書に関する講演会 仲町公民館・仲町図書館改築に伴う基本設計プロポーザル ビデオ教材「図書館の達人 司書実務編」 ブックトーク	全職員

平成22年12月16日	司書講習の報告 著作権講習会の報告 市長への手紙・図書館への意見について 図書館科研修報告 レファレンス研修（ビジネス情報）の報告 ブックトークの実演	全職員
平成23年2月17日	平成23年度に向けて 多摩地域公立図書館大会報告 研修報告 ・国文学研究資料館視察 ・図書館ホームページにおける地域資料情報の発信 平成23年度交換便業務について ハンディキャップサービスについて ブックトーク（第四小学校での実践報告） 資料の購入から納品まで 仲町図書館の基本設計について	全職員

(3) 実務研修・各種研究会への参加

東京都多摩地域公立図書館大会、児童図書館専門研修（東京都立多摩図書館）、レファレンス研修（東京都立図書館）等の各種研修会に職員を派遣し、専門性の向上、職員一人ひとりの知識の向上を図りました。

(4) 各種職場研修の実施

市民の課題解決の支援と職員のスキルの向上を図るため、全職員を対象に館内レファレンス研修を3回実施しました。都立図書館等の資料検索の理解を目的とした基本的な「資料検索研修」と、インターネット情報の活用方法について学習する「インターネット研修」を演習形式で行い、日常業務に有効活用できるように努めました。

【表 30】レファレンス研修の内容

開催日	研修内容	対象者
平成22年 7月15日	資料検索研修Ⅰ 基本検索、都立図書館の検索	中央・地区図書館職員 及び嘱託職員13人
平成22年12月16日	資料検索研修Ⅰ 基本検索、都立図書館の検索	中央・地区図書館職員 及び嘱託職員11人
平成23年 2月17日	インターネット情報 国会図書館HP Webcat Plus 官公庁HP等	中央・地区図書館職員 及び嘱託職員11人

23 広報活動

(1) 図書館だよりの発行（年2回）

これからの図書館は、情報化社会の進展にともない、地域の課題解決や地域の振興を図るための資料・情報の提供機関としての役割を担うとともに、市民の方々との協働を様々な形で進める必要があります。

情報発信の一つとして平成14年11月発行の54号以降休刊していましたが「小平市図書館だよりの」を平成18年度に再刊しました。平成22年度もNo.63・No.64の2号を発行し、情報発信に努めました。

(2) 図書館紹介、利用案内、図書館カレンダー等の作成・配布

図書館紹介・利用案内・図書館カレンダーを作成し配布しました。

多摩六都で発行している多摩六都図書館ガイドブックを継続して発行しました。

(3) 新刊・新着図書案内の発行

購入等によって新しく所蔵した図書や視聴覚資料について広報するために、新着図書・資料案内を月2回中央図書館及び各地区図書館で作成し、利用に供しました。

図書館ホームページの新着案内を週1回更新しました。

(4) 市報等の活用（「図書アラカルト」、行事等）

「図書アラカルト」は図書館に所蔵している本を、できるだけ多くの方に伝えるために、昭和56年4月から「市報こだいら」に連載しているもので、児童書、一般書から3～5点を選び、コメントを付けて紹介しているコーナーです。現在は児童書の紹介を連載し、順次継続してデジタル化を進めています。平成22年度掲載分もデジタル化を行い、ホームページで公開しました。

講演会、講座等についても案内を市報に掲載しました。

(5) 図書館ホームページの整備・活用

図書館が地域の情報拠点として機能するために、情報のデジタル化を進め、ホームページからの情報発信を充実させました。

図書館だより、図書館協議会要録、行事の開催、図書館からのお知らせ、市報に掲載した「図書アラカルト」等、その都度公開しました。

リンク集を整備し、利用しやすいように工夫しました。

(6) 夏休み家族一日図書館員の開催

今年で21回目の事業を、中央図書館と地区館で実施しました。

日時 平成22年7月25日（日）午前9時～正午

会場 中央図書館、地区図書館（7館）

参加者 9家族（23人）

(7) 図書館探検ツアー

図書館の利用者の方に、館内のバックヤードの見学と、図書館の仕事を体験することにより図書館の仕事を知り、図書館を身近に感じていただくことを目的に、図書館探検ツアーを実施しました。

日程 平成22年12月5日（日）

場所 中央図書館

参加者 8人

内容 交換便処理、排架、館内見学など

(8) 「国民読書年」についての広報

平成22年が国民読書年と定められたことから、小平市立図書館においてもポスター掲示等で広く啓発に努めました。

また、展示会、原画展、児童文学講演会などをイベントとして実施し、都立図書館のホームページに掲載しました。

2.4 仲町図書館改築に向けての基本設計の実施

仲町公民館・図書館の建替えは、関係各課で課題の整理、検討を行い、「仲町公民館・仲町図書館建替えに係る方針（案）」を作成し、6月に市民意見公募を実施して、7月に方針をまとめました。

その後、この方針のコンセプトを最大限に具体化できる施設設計を行うためには、企画力、創造性、技術力等が求められることから、公募型プロポーザル方式を採用して、10月に設計業者を選定しました。設計業者との打ち合わせを行っていく中、12月と3月に合計4回の住民説明会を開催し、住民、関係団体等の意見を取り入れながら基本設計を完成させました。

各地区図書館の事業の成果

1 仲町図書館

仲町図書館は、昭和50年5月18日に小平市図書館として開館し、昭和60年7月1日から現在の小平市立仲町図書館の名称になりました。

「利用しやすい図書館」「親しみやすい図書館」をめざして、1階に一般図書、2階に児童書・地域資料・参考コーナーを配置して、落ち着いた雰囲気できれいに利用してもらえよう努めました。

(1) 地域資料の収集・整理・保存事業

① 収集内容

- ・雑誌（タウン誌・ミニコミ誌）
- ・地域新聞（多摩地域各市及び東京都で発行する広報紙・議会報・文化施設の発行する新聞）

② 平成22年度実績

- ・タウン誌・ミニコミ誌 17タイトル（有料のもの 11タイトル）
- ・広報紙 33市町村（東京都含む） ・議会報 22市町（東京都含む）

③ 合冊製本

収集したタウン誌の製本合冊

平成22年度 20冊（3タイトル）

- ・月刊くろすとーく（調布近隣5市の地域文化情報紙）
- ・味覚春秋（味の情報誌）
- ・東京かわら版（演芸専門誌）

④ 新聞切り抜き

平成20年分多摩版（朝日・毎日・読売・東京・産経）の切り抜きを15冊製本しました。

※所蔵は、中央図書館で行っています。

(2) 児童サービス

① 展示

季節に合わせて、児童書（絵本）を2階南側の棚に展示し、利用の促進とともに、子どもを中心として楽しめるよう工夫しました。

【表31】仲町図書館の年間展示テーマ

月	テーマ	月	テーマ
4月	小平子ども読書月間 きょねんのおはなし会の絵本	10月	ハロウィンの絵本 （魔女・怪物・かぼちゃ）
5月	本とみどりとおかあさんの絵本	11月	たべものと芸術の絵本
6月	かえると雨とおとうさんの絵本	12月	クリスマスの絵本
7月	空と夏の絵本	1月	お正月とはじめての絵本
8月	おばけと海と夏の絵本	2月	鬼と冬とチョコレート絵本
9月	おじいさんおばあさんの絵本	3月	春と花の絵本

2 花小金井図書館

花小金井図書館は昭和54年度に開館し、平成17年度の移転事業を経て、平成18年5月8日にリニューアルオープンし、新館になって5年が経ちました。

施設は、屋上緑化、太陽光発電、風力発電など環境に十分配慮した特徴を持ち、断熱効果やエネルギー

ギー節減により温室効果ガス削減を目指しています。また、雨水貯留槽を設置し、トイレの洗浄水や植木の灌水に使用しています。さらに2階、3階のテラスに読書スペースを設け、屋外という自然の中で読書が楽しめるほか、おはなし会が行われない日は、おはなし室を読書室として開放しています。

リニューアルオープン以来、駅前利用しやすい図書館として利用者は増えており、平成22年度の貸出資料数は246,067点で、18年度に比べ約37,000点の増となりました。

(1) リーフレット収集事業

リーフレット収集事業では、スーパーのチラシや求人広告など小平市内の宅配新聞の中に折り込まれているチラシを32の件名に分類し、約2,500枚を収集しました。今年度は平成21年度分の分類したチラシを10分冊に製本し保存しました。今後は分類別に分けたチラシを地域研究に活用が期待できる専門的な資料として保存します。

(2) ビジネス支援コーナーの設置

平成20年3月にビジネス支援コーナー『ワクワクwork』を設置しました。仕事や起業に関する図書資料の提供、パンフレットの配布、資格ガイドの紹介、求人広告の展示等を行っています。また、産業振興課から中小企業庁支援事業やハローワーク等のパンフレットを提供してもらうなど、関係機関と情報交換を密にして連携を図りました。

平成20年度には、このコーナーを活用していただくためにホームページを立ち上げました。近年の経済状況下で利用者も増加しています。今後も広報を積極的に進めていきます。

(3) 児童サービス及び小中学校との連携

① 特別団体貸出

総合学習、調べ学習等の学習用として、今年度は小学校3校、中学校1校へ2,076冊の図書の貸出を行いました。また、中学生の調べ学習の課題資料を館内に展示しました。

② 日曜日のおはなし会の実施

家族が触れ合う機会を提供し、また、新たな図書館利用者の拡大を図ることを考えました。多くの家族が参加され好評を得ました。図書館にはじめてこられた方も多くいました。

3 小川西町図書館

平成22年度は蔵書の整理に力を入れ、他館への移管やリサイクルを推し進めました。

また、小川西町図書館は障がい者サービスの中心館として、図書館資料の郵送貸出や講演会等の事業を行いました。

(1) 展示会等の開催

障がいのある子どものための布の絵本・布の遊具を多くの人に知っていただくため、館内の展示ケースを活用して、3回展示を行ったほか、幼児コーナー横に、毎月種類を替えて配置し、自由に楽しんでもらえるようにしました。

(2) 障がい者サービス

視力に障がいのある人に対し録音図書・点字図書の貸出を行い、障がいのため図書館に来館が困難な方に郵送で図書の貸出を行いました。また、障がいのある子どもがいる市内のグループに、布の絵本・布の遊具の貸出を行ったほか、点訳絵本の点字版リストを作成しました。

また、毎年度、障がい者への理解を深め、障がい者や高齢者の図書館利用を促進するために福祉講演会を開催しています。本年度は、11月20日(土)に国際セラピードッグ協会代表 大木トオル氏により「人と犬の共生 ～セラピードッグと共に～」の演題で講演会を行い33人の参加がありました。

【表32】 郵送貸出の推移

年 度		貸出人数（実人員）			貸出タイトル数*			貸出数		
		20	21	22	20	21	22	20	21	22
録音 資料	個人貸出	22	17	14	286	149	94	1,291	709	486
	公共図書館貸出	4	8	3	10	12	7	61	68	39
図書資料		0	1	2	0	3	86	0	3	86
点字資料		4	3	3	161	169	164	161	169	164
合 計		30	29	22	457	333	351	1,513	949	775
郵送貸出登録者数		50	46	44						

*貸出の都度、1タイトルと数える。

4 喜平図書館

昭和56年6月27日に開館した喜平図書館は、小平団地の東南の角にあり、明るい環境の中で地域利用者が気軽に利用できる図書館です。

(1) 教科書

小中学校用教科書は、開架フロアに表33・34のものを展示し、貸出・閲覧を行っています。なお、平成22年度の小学校教科書の貸出数は136冊、中学校教科書の貸出数は119冊でした。

【表33】 小学校教科書の所蔵点数

種 目	種類数(種)	点 数(点)	種 目	種数(種)	点 数(点)
国 語	5	60	音 楽	3	18
書 写	5	30	図画工作	3	18
社 会	5	30	家 庭	2	2
地 図	2	2	保 健	5	10
算 数	6	66	合 計	50	286
理 科	5	32		(16社)	
生 活	9	18			

【表34】 中学校教科書の所蔵点数

種 目	種類数(種)	点 数(点)	種 目	類数(種)	点数(点)
国 語	5	15	美 術	3	9
書 写	6	12	保健体育	3	3
社 会	8	24	技術・家庭	2	4
数 学	7	21	英 語	6	18
理 科	5	20	合 計	47	134
音 楽	2	8		(16社)	

(2) 郷土写真資料

郷土写真資料の収集保存事業は、主に収集・保存・利用・広報の4つの要素から成立し、それぞれの事業が有機的に連動しながら実施されています。

① 写真資料のデジタル化

平成14年度から写真資料をデジタル化するため、シルバー人材センターに委託し、データ入力しています。平成22年度は、7,414件をデータ入力しました。

(3) 児童サービス

① 幼児コーナー展示

【表35】喜平図書館の幼児コーナーの年間展示テーマ

月	展示絵本（幼児コーナー内）	展示図書（幼児コーナー横へ別置）
4月	春の本	おはなし会で出会った本
5月	お母さんの本／友達の本	
6月	雨の本	おとうさんの本
7月	夏の本／空と星の本	戦争の本／自由研究の本
8月	夏の本／おばけの本	戦争の本／自由研究の本
9月	じいじとばあばの本／月の本	
10月	魔法の本／いぬとねこの本	
11月	魔法の本／食べ物の本	鈴木小・三小のおはなし会の本
12月	クリスマスの本／いぬとねこの本	クリスマスの本／冬休みによんでみませんか
1月	雪の本／うさぎの本	鈴木小・三小のおはなし会の本
2月	雪の本／おにの本	
3月	春の本／食べ物の本	

② 小学校との連携

・ボランティア支援

喜平図書館集会室で、学校図書館ボランティアにスキルアップ講座を行いました。
(10月28日「図書の修理講習会」参加者延べ13人。)

③ 広 報

以下のチラシを作成し、利用及び行事等への参加促進に努めました。

- ・子どもカレンダー
- ・おはなし会のしおり・・・初めて参加する保護者向け案内
- ・おはなし会年間日程
- ・絵本のへや年間日程

(4) 集会室

① 集会室は、市民相互の交流並びに市民文化の向上を目的に設置されたものです。

平成22年度の利用状況は、有料・免除団体を含めて76団体で延べ604件、6,914人が利用しました。

② 平成23年3月末現在の登録団体は221団体です。

集会室の利用状況は、次の表のとおりです。

【表36】喜平図書館・上宿図書館の集会室利用状況

(単位：件)

部屋名	館名	午前	午後	夜間	合計
第1集会室	喜平図書館	87	72	16	175
	上宿図書館	32	18	10	60
第2集会室	喜平図書館	93	108	47	248
	上宿図書館	42	34	13	89
和室	喜平図書館	121	50	10	181
	上宿図書館	20	47	7	74
合計	喜平図書館	301	230	73	604
	上宿図書館	94	99	30	223

5 上宿図書館

上宿図書館は昭和57年6月26日に開館しました。小平市の西端に位置し、市の中心部から離れていることもあり、地域の方たちに親しみやすく、気軽に利用できる地区図書館です。図書以外の資料収集としては、次の事業を実施しました。

(1) 小平市に関する新聞記事切り抜き

平成22年分として、原紙5分冊、複写2分冊(2セット)を製本しました。

昭和55年4月から朝日・毎日・読売・東京・産経・日経新聞の各紙について、切り抜き、整理・保存しています。

(2) 郷土写真資料

郷土写真資料の撮影保存

秘書広報課(広報広聴課)から寄託された昭和57年撮影のポイント写真520ヶ所を5年計画(平成18年から平成22年度)で撮影しました。

平成22年度は142ヶ所のポイントを撮影しました。

また、図書館が撮影した定点写真は、昭和56年度から平成15年度までは210ヶ所を保存していましたが、平成16年度以降は96ヶ所を撮影し保存しています。

(3) 児童サービス

① よるのおはなし会の実施

少し怖いおはなしを集めたおはなし会を実施しました。家族で参加できるよう18時から開始し、新たな図書館利用者の拡大を図りました。おはなし会に初めて参加する家族など多くの家族が参加され、好評を得ました。

② 広報

以下のチラシを作成し、利用及び行事等への参加促進に努めました。

- ・おはなし会カレンダー
- ・おはなし会のしおり
- ・かみじゅくとしょかんへようこそ!・・・配置図や絵本の分類など保護者向け案内
- ・おはなし会年間日程
- ・絵本のへや年間日程

(4) 集会室

- ① 平成22年度の利用状況は、有料・免除団体を含めて44団体で延べ223件、1,808人が利用しています。
- ② 平成22年3月末現在で登録団体は58団体です。
◎集会室の利用状況は、【表36】のとおりです。

6 津田図書館

津田図書館は、ポスター等事業の収集分担館として、小平市内で発生したもののほか、小平市の行政や市民生活に関係する外部から送付されたものを含めて、昭和62年7月4日の開館以来、これらの資料を組織的に収集・整理・保存しており、その実績は次のとおりです。

【表37】ポスター等収集実績一覧

年 度	受入点数	年 度	受入点数	年 度	受入点数
昭和 62 年度	169	平成 9 年度	358	平成 19 年度	451
昭和 63 年度	255	平成 10 年度	201	平成 20 年度	434
平成 元 年度	105	平成 11 年度	216	平成 21 年度	521
平成 2 年度	58	平成 12 年度	227	平成 22 年度	327
平成 3 年度	79	平成 13 年度	178	合 計	5,988
平成 4 年度	160	平成 14 年度	152		
平成 5 年度	196	平成 15 年度	290		
平成 6 年度	127	平成 16 年度	360		
平成 7 年度	207	平成 17 年度	366		
平成 8 年度	162	平成 18 年度	389		

7 大沼図書館

平成13年1月9日に開館した大沼図書館は、市民の暮らしに役立ち、身近で気軽に利用でき、親しみの持てる図書館として、事業・行事によるPRを通じ、図書館への関心を高め、利用の促進を図りました。

(1) 主な事業

- ・全国各地の1月1日発行の主要地方新聞を集めた「ふるさとの新聞元旦号展」を、平成23年1月15日(土)から19日(水)まで開催しました。(協力55紙)
- ・各館の収集分担に基づき、小平市に在住している方々の著作物を収集し、利用に供しました。(蔵書数：2,515冊)
- ・児童書と一般図書それぞれ毎月テーマを決めて、テーマに関する本を別置して展示し、利用の促進を図りました。

【表38】大沼図書館の年間展示テーマ

月	児 童 書 (テーマ)	一 般 書 (テーマ)
4月	1年生の本、学校の本	平成21年度おはなし会で使った絵本
5月	お母さんの本、犬の本	追悼一井上ひさし
6月	お父さんの本、みどりの本、雨の本	花のある暮らし
7月	夏の本・工作の本	作って楽しむ
8月	おじいちゃん・おばあちゃんの本 月の本	星の本
9月	ハロウィン・きょうりゅうの本	ぶらり美術散歩
10月	秋・芸術の本	瀬戸内紀行
11月	クリスマスの本	生物多様性
12月	干支の本、お正月の本	暦と行事
1月	雪の本、冬の本、鬼の本	うさぎの本
2月	春の本、花の本、ひな祭りの本	今年度購入した地方出版物
3月		

参 考 資 料

- 資料1 小平市図書館協議会
「仲町公民館・仲町図書館建替え方針をめぐって
～人と情報の出会いの場～」(平成23年3月提言)
- 資料2 平成22年度小平市立図書館事業統計(平成23年3月31日現在)
- 資料3 平成22年度小平市子ども文庫連絡協議会事業報告